

= 目 次 =

3-1. 地域の概況	2	3-4. 町民の移動実態	33
(1) 地勢	2	(1) アンケートの概要	33
(2) 人口	4	(2) 地域間交通流動	35
(3) 主要施設等	7	(3) 利用交通手段	37
(4) 自動車の保有状況	12	(4) 路線バスの利用実態	39
3-2. 上位計画、関連計画	13	(5) 移動手段の現状や見通し	43
3-3. 公共交通の現状	17	(6) 高齢者の将来の移動に対する不安	44
(1) 公共交通網	17	(7) アンケートまとめ	46
(2) 路線バスの運行サービス内容	19	(8) その他	47
(3) タクシー	22	3-5. 来島者の移動実態	48
(4) レンタカー	24	(1) 大島町商工会によるアンケート調査	48
(5) その他移動サービスの状況	26	(2) 来島者webアンケート	53
(6) 人口カバー率	32	3-6. 公共交通の利用状況	59
		(1) バスの利用状況	59
		(2) 船舶・飛行機の利用状況	67
		3-7. 地域や公共交通の現状からみた課題	68

3. 大島町の現状と課題

3-1. 地域の概況

(1) 地勢

1) 土地利用

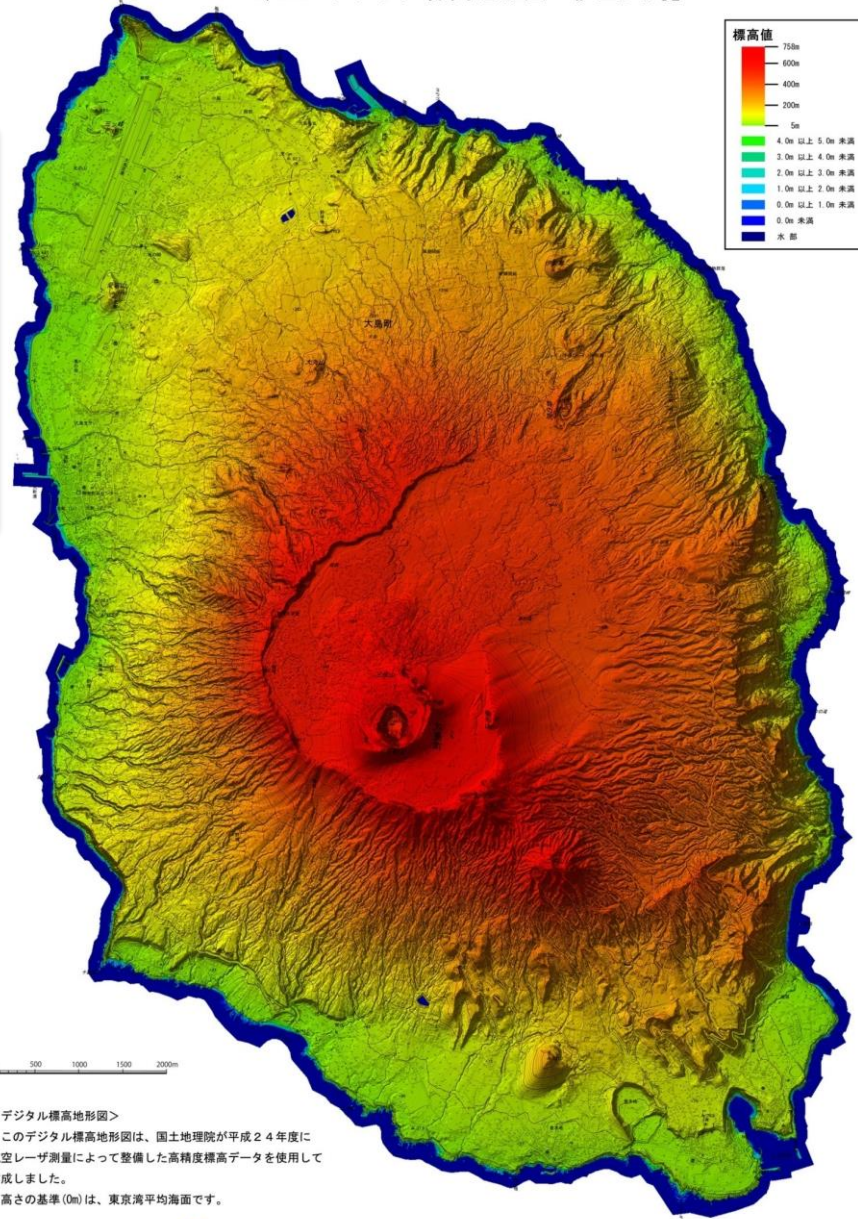
大島町は伊豆諸島の北端に位置する。町が位置する大島は伊豆諸島の中でも最大であり、活火山により形成されている。

大島町の中央部には標高758mの三原山があり、町内の西側に勾配が緩やかな平地が開けている。

土地利用調査によると、町内の約6割が森林、約2割が原野である。

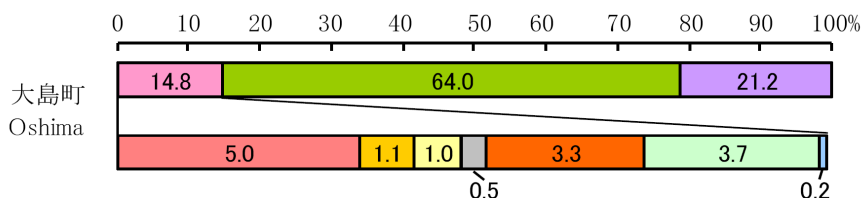
町内の集落は海岸に沿って発達している。

1:25,000 デジタル標高地形図「伊豆大島」



L-1	L-2	L-3	L-4	L-5	L-6	L-7	L-8	L-9
宅地	その他	公園等	未利用地等	道路等	農用地	水面	森林	原野

平成29年土地利用比率(島しょ地域町村別)



資料)東京の土地利用 平成29年多摩・島しょ地域東京都

資料)デジタル標高地形図(国土地理院)

3. 大島町の現状と課題

3-1. 地域の概況

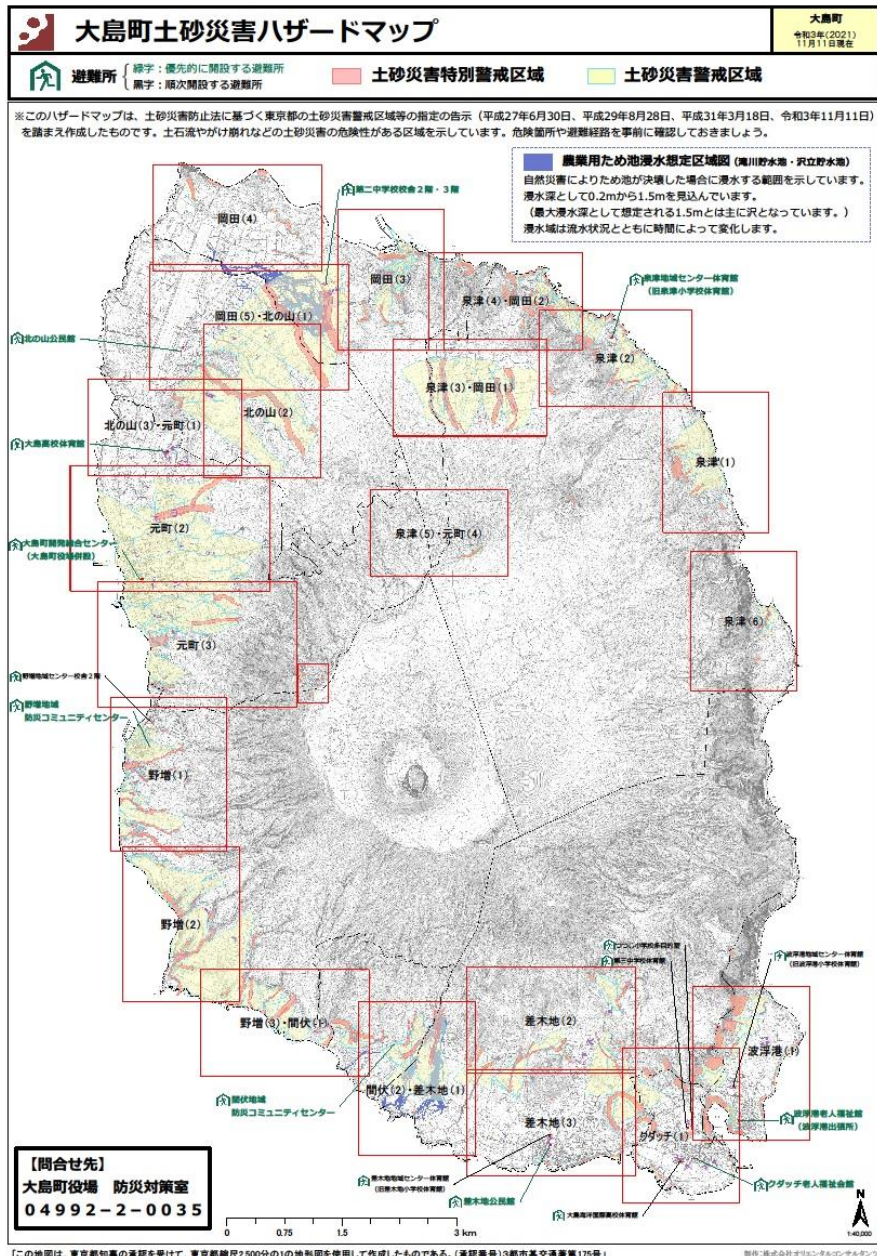
(1) 地勢

1) 土地利用

大島町は火山の噴火による溶岩や火山灰等の土壌で形成されており、がけ崩れが起こりやすい特性をもつ。

三原山の外側の外輪山で発生したがけ崩れは住宅地には直接影響しないが、大雨によって土石流となり、大きな災害となることがある。

そのため、集落が立地している平地部の多くは土砂災害警戒区域に指定されている。



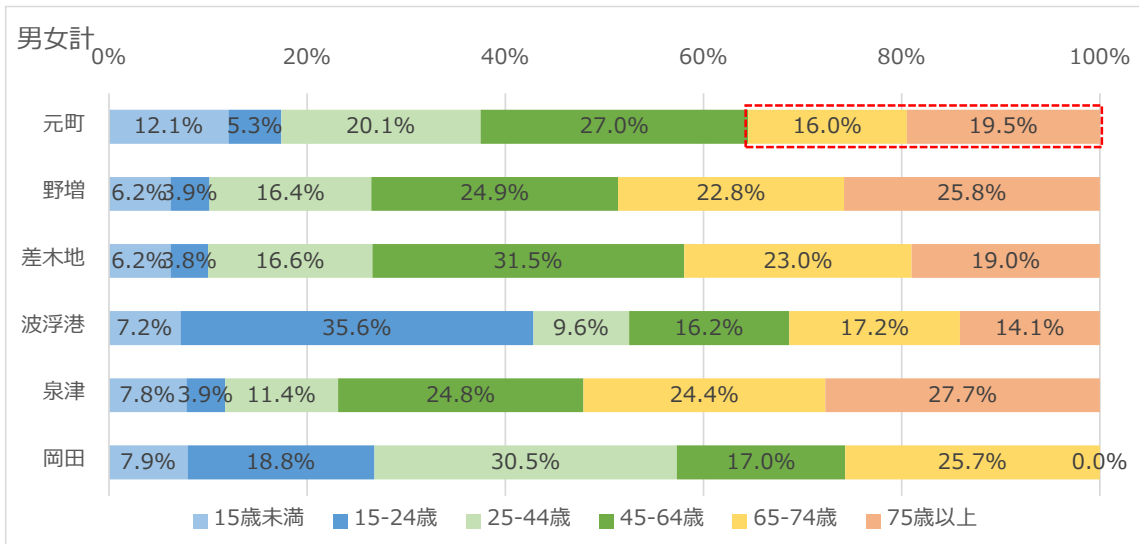
3. 大島町の現状と課題

3-1. 地域の概況 (2) 人口

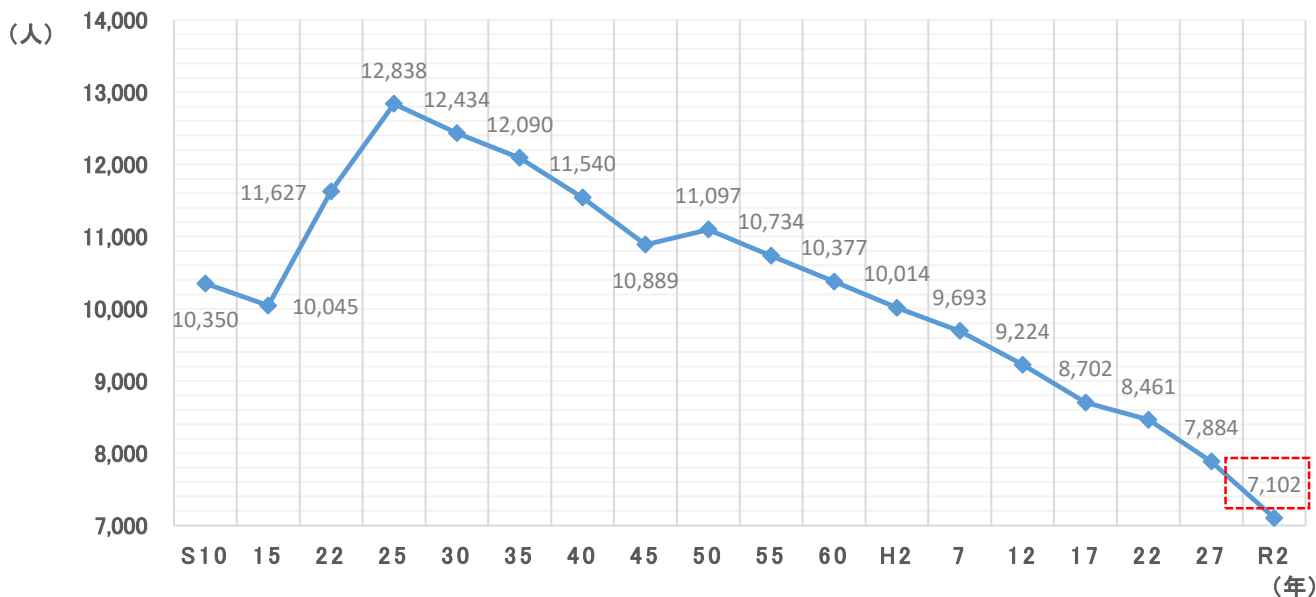
大島町の人口は昭和25年の約1.2万人をピークに減少が続いている。

令和2年の人口は約7,100人であり、ピーク時の半分程度となっている。

国勢調査の結果をみると、町内の各集落で65歳以上の人口の占める割合が高くなっている。



資料)令和2年国勢調査

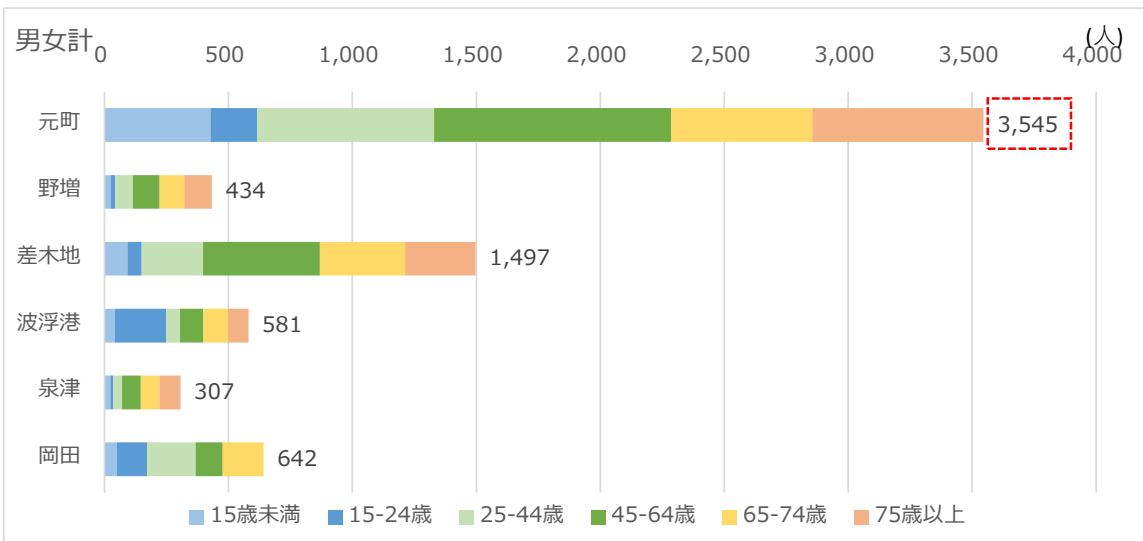


資料)東京都大島支庁管内概要 令和3年版

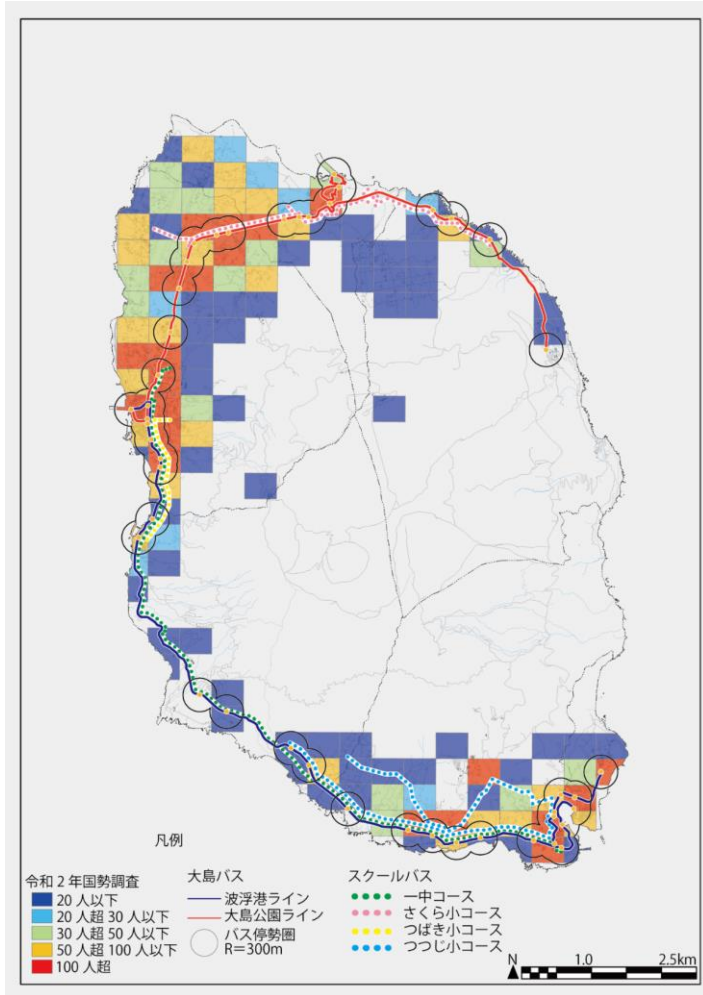
3. 大島町の現状と課題

3-1. 地域の概況 (2) 人口

海岸沿いを中心に人口が集積している。
旧6村別でみると、元町に人口が集中しており、約3,500人が居住している。



資料) 令和2年国勢調査



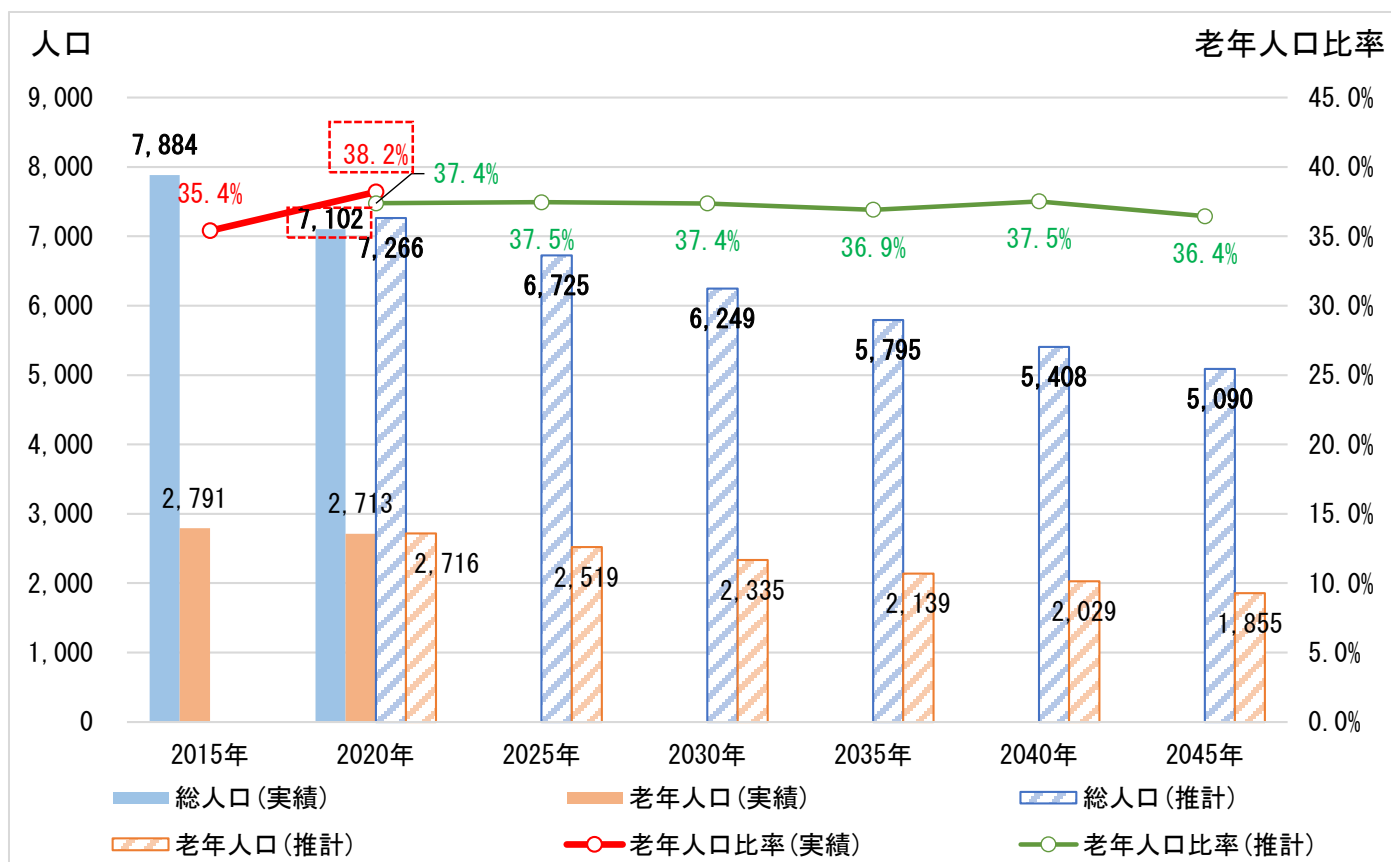
資料) 令和2年国勢調査

3. 大島町の現状と課題

3-1. 地域の概況 (2) 人口

国立社会保障・人口問題研究所が平成27年国勢調査をもとに推計した将来推計人口によると、大島町の人口は減少し、また、総人口の減少に対して、老年人口比率は37%程度で推移していくとされていた。

しかし、令和2年国勢調査の結果をみると、**人口減少が推計よりも早く進行し、相対的に老年人口比率が高まっている**ことが分かる。



資料)国立社会保障・人口問題研究所

3. 大島町の現状と課題

3-1. 地域の概況

(3) 主要施設等

1) 公共・公益施設

出張所や保育園、学校等の町民が日常的に利用する施設は各集落に立地している。



No	施設種類
1	町役場出張所
2	保育園
3	小学校
4	中学校
5	高校
6	老人ホーム
7	公民館、老人福祉館、文化会館、コミュニティセンター
8	大島勤労福祉会館
9	セミナーハウス
10	大島医療センター

資料)大島町HP

3. 大島町の現状と課題

3-1. 地域の概況

(3) 主要施設等

2) 官公署等

主要な官公署は元町に立地している。



No	施設種類
1	大島町役場
2	大島町消防本部
3	東京都大島支庁、教育庁大島出張所
4	島しょ保健所大島出張所
5	水産試験場大島分場
6	家畜保健衛生所大島支所、中央農業改良普及センター大島支所、農業試験所大島園芸技術センター
7	東京都大島公園事務所
8	警視庁大島警察署
9	大島勤労福祉会館
10	大島セミナーハウス
11	栽培漁業センター
12	伊豆大島簡易裁判所
13	伊豆大島区検察庁、環境省伊豆諸島自然保護官事務所
14	東京航空局大島空港出張所

3. 大島町の現状と課題

3-1. 地域の概況

(3) 主要施設等

3) 観光 ①施設立地

観光施設は主には元町に集中している。

泉津や北の山には椿祭りのシーズンのメイン会場となる都立大島公園や椿花ガーデンが立地している。

また、町の中央には三原山を中心に裏砂漠等の自然観光資源がみられる。



3. 大島町の現状と課題

3-1. 地域の概況

(3) 主要施設等

3) 観光 ②入込客数

椿祭りのシーズンが最多客期、年間入込客数の約1/4が来訪する。

コロナ禍の令和2年～令和3年には通年で入込客数が激減した。

平成29年2～3月:6.2万人

令和3年2～3月:1.5万人

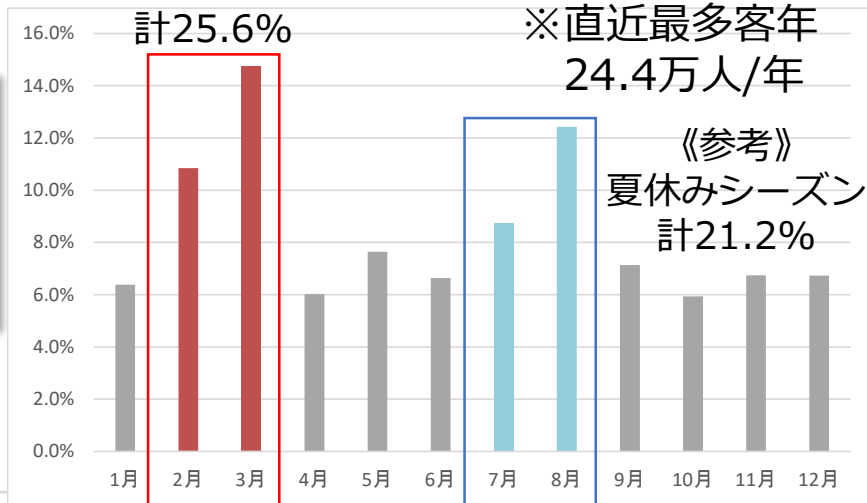
椿祭りシーズン

計25.6%

H29の月別割合

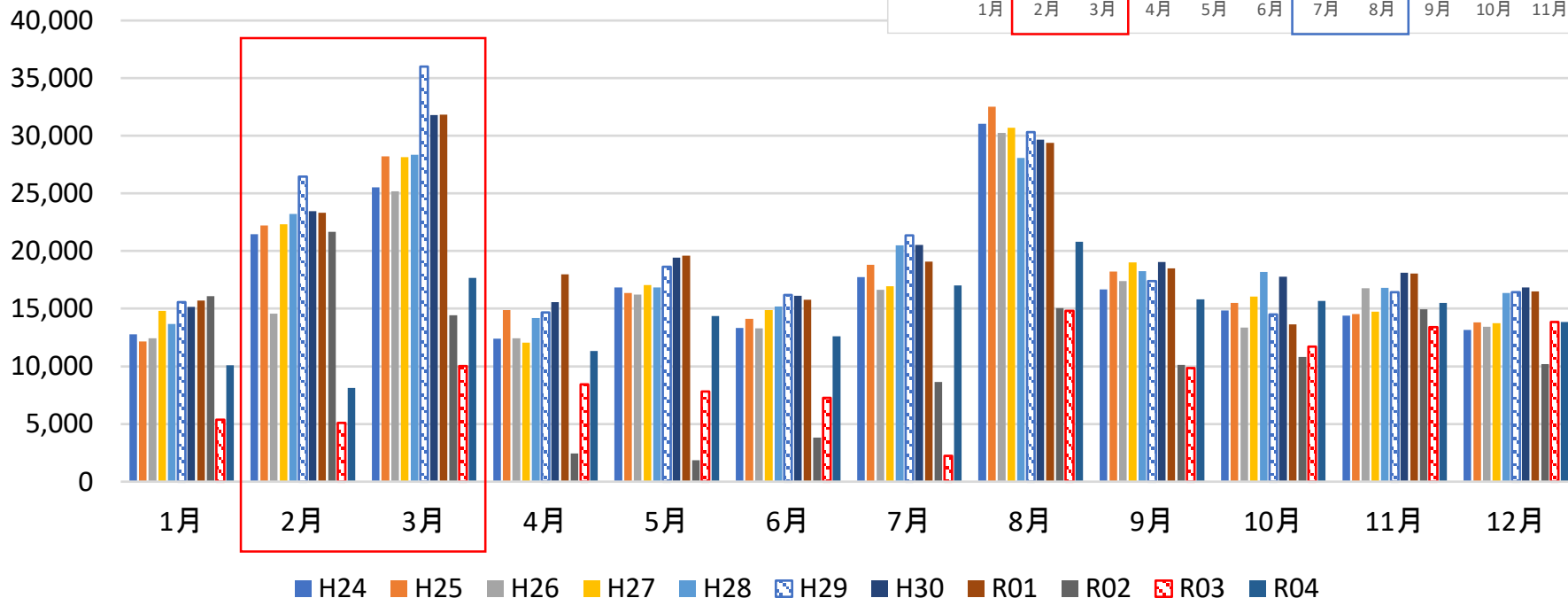
※直近最多客年
24.4万人/年

《参考》
夏休みシーズン
計21.2%



人/月

椿祭り



3. 大島町の現状と課題

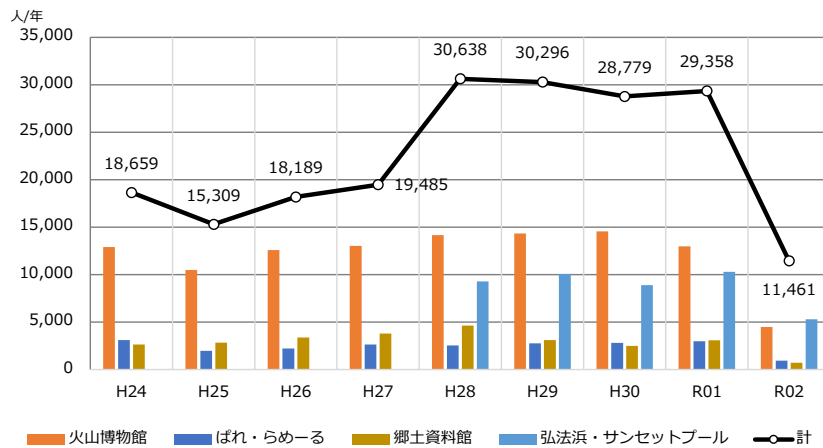
3-1. 地域の概況

(3) 主要施設等

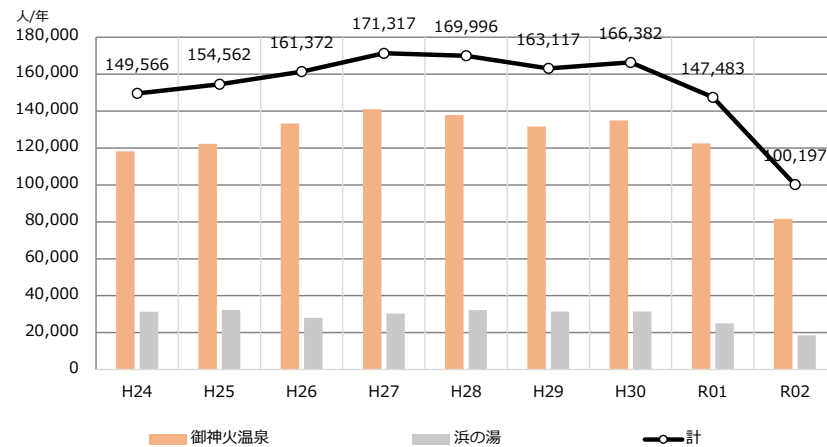
3) 観光 ③施設別の利用者数

各施設の利用者数についても、コロナ禍の影響により、大幅に減少している。

観光施設等入場者数



温泉施設入館者数



	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02
火山博物館	12,909	10,488	12,593	13,037	14,172	14,349	14,569	12,996	4,481
ばれ・らめーる	3,111	1,984	2,228	2,652	2,536	2,758	2,823	2,976	946
郷土資料館	2,639	2,837	3,368	3,796	4,635	3,114	2,494	3,088	725
弘法浜・サンセットプール					9,295	10,075	8,893	10,298	5,309
計	18,659	15,309	18,189	19,485	30,638	30,296	28,779	29,358	11,461

資料)大島町町勢要覧資料編

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02
御神火温泉	118,233	122,218	133,319	140,993	137,821	131,691	134,904	122,500	81,624
浜の湯	31,333	32,344	28,053	30,324	32,175	31,426	31,478	24,983	18,573
計	149,566	154,562	161,372	171,317	169,996	163,117	166,382	147,483	100,197

資料)大島町町勢要覧資料編

3. 大島町の現状と課題

3-1. 地域の概況

(4) 自動車の保有状況

自家用車は、1世帯あたり約1台程度の台数となっている。

自動車の種類	台数
乗用車	1,005台
軽自動車	3,113台
合計	4,118台

※自家用車 = 普通車(自家用) + 小型車(自家用)

大島の世帯数は4,421世帯(R3.4)



$$4,118 \div 4,421 = 0.93 \text{台/世帯}$$



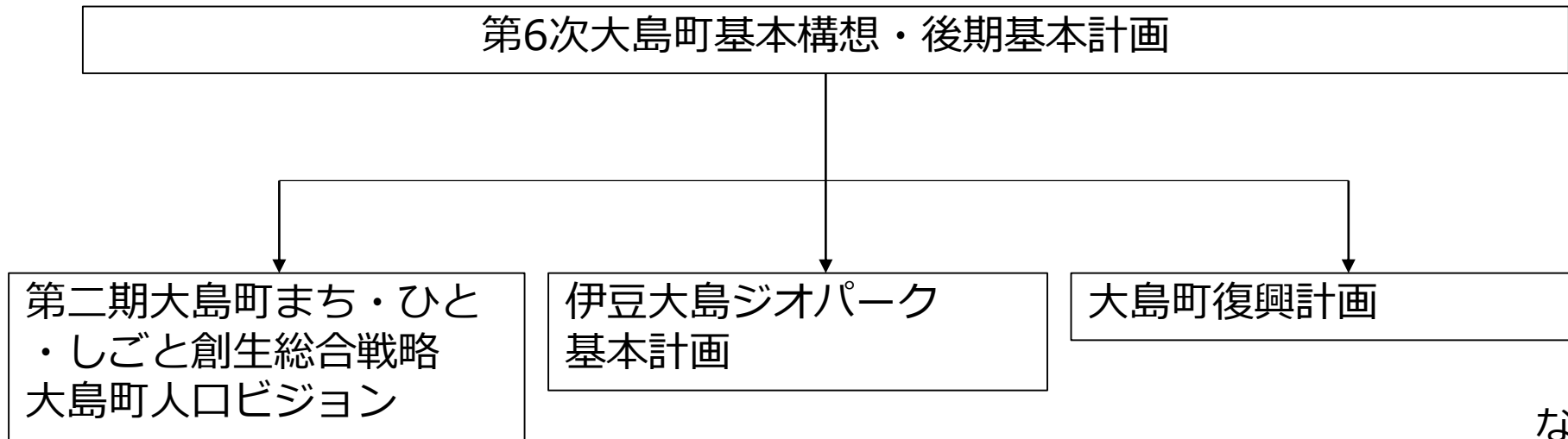
ほぼ全ての世帯に自家用車がある

区分		大島町	
乗用車	普通車	自家用	193
		営業用	10
	小型車	自家用	812
		営業用	4
	計	自家用	1005
		営業用	14
トラック	貨客車	自家用	122
		営業用	0
	トラック	自家用	309
		営業用	64
	計	自家用	431
		営業用	64
バス	一般乗合	自家用	0
		営業用	14
	その他	自家用	21
		営業用	5
	計	自家用	21
		営業用	19
特殊用途車	自家用	156	
	営業用	25	
電気自動車	自家用	7	
	営業用	0	
合計	自家用	1620	
	営業用	122	
総計		1742	

資料: 東京都大島支庁管内概要 令和3年版

3. 大島町の現状と課題

3-2. 上位計画、関連計画



(1) 第6次大島町総合計画基本構想(平成28年度～令和5年度)

まちの将来像	「笑顔あふれる、誰もがくらしたいくなる島」
施策の方針	<ol style="list-style-type: none">1 自然と調和・共生したまちづくり -町の基盤づくり-2 安全・安心でやすらぎのあるまちづくり -地域環境づくり-3 健康でやさしさあふれるまちづくり -福祉の充実、健康づくり-4 豊かな人間性を育むまちづくり -教育・文化の向上とふるさとづくり-5 時代に合った地域性を活かしたまちづくり -活力ある産業づくり-6 安心と笑顔あふれる美しいまちづくり -復興のまちづくり-7 まちづくり推進のために -住民とともに歩む-

3. 大島町の現状と課題

3-2. 上位計画、関連計画

(2) 第6次大島町総合計画後期基本計画(令和2年度～令和5年度)

まちづくりの方向性	<ul style="list-style-type: none">元気で住みやすい快適なまちづくり、自然と人々が調和し、仲良く共生する大島らしい環境づくりを推進安全・安心で豊かに誰もが住み心地のよい快適な環境の整備誰もが生きがいを持ち安心して暮らせるよう健康でやさしさあふれるまちづくりを推進Uターン・Iターンなどができる環境整備を充実し、農業、漁業における人材を確保し、若者が定着する活力ある産業の振興 等
町内の交通に関する施策	<p>1 自然と調和・共生したまちづくり -町の基盤づくり- 「第2 交通運輸」 (1) バス路線の確保・充実 (2) 交通体系の構築 等 ・時代のニーズに合ったバス運行の推進や新規路線の確保、現状ダイヤの改善 ・きめ細かな交通体系の確立 等</p> <p>2 安全・安心でやすらぎのあるまちづくり -地域環境づくり- 「第7 安全・安心」 (1) 交通安全対策の強化 等 ・過密化する車社会へ対応する交通安全対策 等</p> <p>5 時代に合った地域性を活かしたまちづくり -活力ある産業づくり- 「第5 観光」 (3) 観光名所等の整備促進 等 ・ハイキングの推進とルート維持管理 ・サイクリスト受入れ態勢の整備 等</p>

3. 大島町の現状と課題

3-2. 上位計画、関連計画

(3) 第二期大島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 大島町人口ビジョン (令和3年度～令和6年度)

まちづくりの方向性	<ul style="list-style-type: none">・ しごとをつくり、安心して働ける島・大島・ 訪れても住んでも健やかに過ごせる島・大島・ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる島・大島・ 住み続けられるまち、安全・安心な暮らしを守る島・大島
町内の交通に関する施策	<p>基本目標2 訪れても住んでも健やかに過ごせる島・大島</p> <p>1. 地域資源を活用した観光振興</p> <p>(1) 総合的な観光施策の推進 (3) 伊豆大島ジオパーク推進事業 等</p> <ul style="list-style-type: none">・ 観光客受け入れインフラの整備・ 地域資源を巡れる環境の整備 等 <p>基本目標4 住み続けられるまち、安全・安心な暮らしを守る島・大島</p> <p>1. 島内交通ネットワークの形成</p> <p>(1) 島内交通手段確保事業の推進 等</p> <ul style="list-style-type: none">・ 大島旅客自動車の経営安定化事業・ 町内交通手段確保事業の効率化 等

3. 大島町の現状と課題

3-2. 上位計画、関連計画

(4) 伊豆大島ジオパーク基本計画(令和2年度～令和12年度)

ジオパークの方向性	<ul style="list-style-type: none">地球の活動を自然の摂理として正しく理解し、地球上の生き物とともに安全で平和に生き続ける人を育みます人と想いをつなげ、協働で活気ある島の未来をつくれます
町内の交通に関する施策	(4)伊豆大島の「魅力」を活用しやすい環境を整備します (4)-1. 拠点施設の整備 (4)-2 来訪者への情報提供の拡充 (4)-3 解説看板・案内板等の整備 (4)-4 休養・公共施設、交通アクセス等の整備 <ul style="list-style-type: none">拠点施設の整備・管理、展示物の制作総合ガイドブックの作成看板整備計画の作成・更新、総合案内板・誘導標識の作成交通アクセスの向上検討・実施 等

(5) 大島町復興計画(平成26年度～令和5年度)

まちづくりの方向性	<ul style="list-style-type: none">被災者生活再建支援域基盤・インフラの復旧産業・観光復興支援防災まちづくりの強化
町内の交通に関する施策	復興の柱3産業・観光復興支援 観光振興の推進 <ul style="list-style-type: none">岡田港周辺の環境づくり 等

3. 大島町の現状と課題

3-3. 公共交通の現状

(1) 公共交通網

交通モード		事業者数	事業者	車両数
運輸 (緑ナンバー)	路線バス・定期 観光バス	1事業者	大島旅客自動車(株)	13台
	貸切バス	1事業者	大島旅客自動車(株)	5台
	タクシー	6事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・三原観光自動車 ・宮本交通 ・あいタクシー ・長岡交通 ・花交通タクシー ・大島観光自動車株式会社 	13台
レンタル	レンタカー	5事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・トヨタレンタカー ・モービルレンタカー ・伊豆大島レンタカー ・元町レンタカー ・戸井商店 	146台
	レンタサイクル	4事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・らんぶるレンタサイクル ・みよし土産品店 ・戸井商店 ・Volcanic Island 	222台
	レンタルバイク	2事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・らんぶるレンタサイクル ・南耕苑 	27台
施設送迎	病院送迎	1施設		
	介護施設送迎	4施設		-
	スクールバス	小学校3校 中学校1校 高等学校1校		-
	宿泊施設送迎	6施設※		-

※旅行代理店WEBサイトによる、送迎情報を公表していない事例もあり

3. 大島町の現状と課題

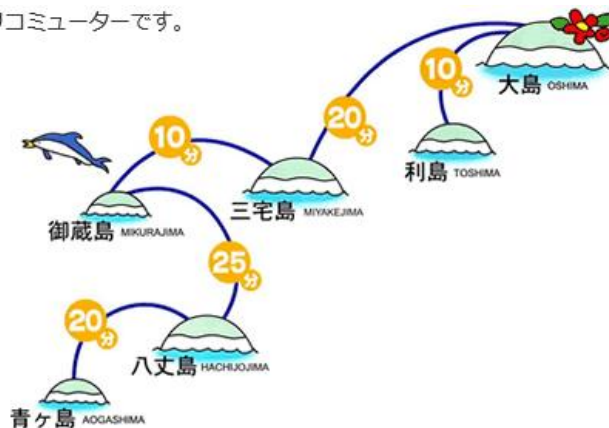
3-3. 公共交通の現状

(1) 公共交通網

交通モード		運行便数	事業者
高速 ジェット 船	東京・竹芝-大島- (利島等)	閑散期：往復計4便 繁忙期：往復計8便	東海汽船
	熱海・伊東-大島	閑散期：往復計4便 繁忙期：往復計4便	
大型客 船	東京・竹芝-大島- (利島等)	往復：往復計2便	
旅客機	調布-大島	往復計4便	新中央航空
ヘリ	大島-三宅島	往復計2便	東邦航空
	大島-利島	往復計2便	

東京愛らんどシャトルは東京の島々を結ぶヘリコムーターです。毎日運航しております。

- 八丈島 ⇄ 青ヶ島 20分
- 八丈島 ⇄ 御蔵島 25分
- 御蔵島 ⇄ 三宅島 10分
- 大島 ⇄ 三宅島 20分
- 大島 ⇄ 利島 10分



資料)東方航空HP



資料)大島町町勢要覧

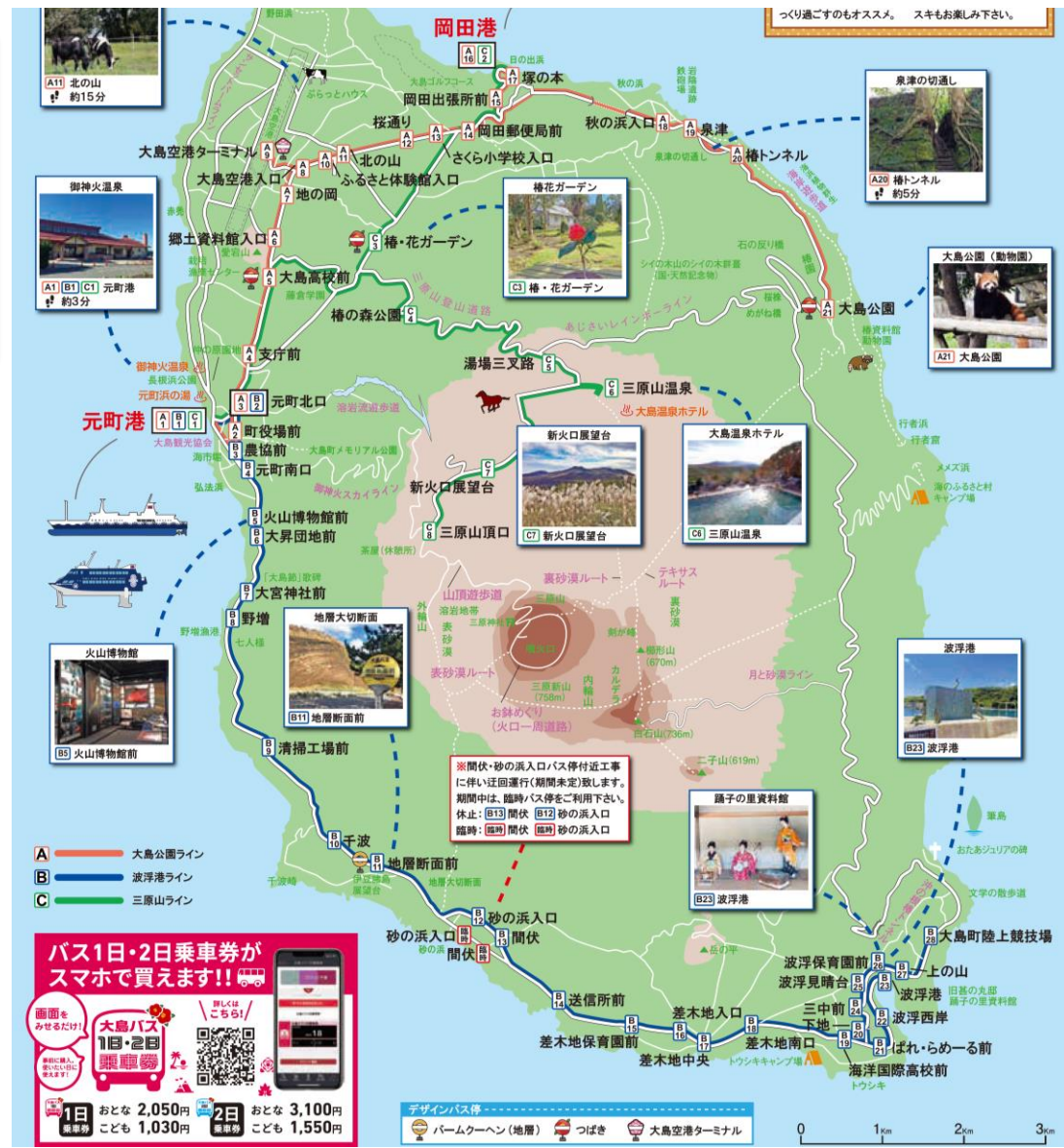
3. 大島町の現状と課題

3-3. 公共交通の現状

(2) 路線バスの運行サービス内容

日常生活や観光移動に対応した路線として、**大島公園ライン**・**波浮港ライン**を運行している。

その他に観光需要に特化した**三原山ライン**の運行や季節需要に対応した臨時路線を運行している。



3. 大島町の現状と課題

3-3. 公共交通の現状

(2) 路線バスの運行サービス内容

大島公園ライン・波浮港ラインはおおむね1時間に1本の頻度で運行している。

始発は7~8時台、終発は18時台である、

三原山への運行便は港から山頂までの往路便は午前中のみでの運行となっている。復路便は高速ジェット船・大型客船の出帆に接続するような運行となっている。

各路線には毎日、定時に運行する運行ダイヤと出帆港に応じてダイヤが変則となる便がある。

路線	運行本数(往復計)					
	閑散期(10~1月)			繁忙期(2~6月、7~9月)		
	9時台 まで	10~16 時台	17時台 以降	9時台 まで	10~16 時台	17時台 以降
大島公園 ライン	4便	12便	2便	4便	12便	2便
波浮港ライン	5便	12便	2便	5便	11便	3便
三原山ライン	2便	2便	-	2便	5便	-

■元町港→岡田港・大島公園 行

元町港～岡田港 おとな370円
元町港～大島公園 おとな570円

便	① 元町港 発	⑥ 郷土資料館 入口	⑨ 大島空港 ターミナル	⑩ ふるさと 体験館入口	⑭ 岡田 郵便局前	⑯ 岡田港	⑳ 榑 トンネル	㉑ 大島 公園着	運行日 (R4.10/1~R5.2/3)
1	8:00	8:06	-	8:09	8:12	8:17	8:26	8:30	毎日
2	9:00	9:06	-	9:09	9:12	9:17	9:26	9:30	元町港出帆の日
	9:40	9:46	-	9:49	9:52	9:57	10:06	10:10	岡田港出帆の日
3	10:20	10:26	-	10:29	10:32	10:37	10:46	10:50	平日で岡田港出帆の日 ※
						10:50	10:59	11:03	土休日で岡田港出帆の日 ※
	10:40	10:46	10:50	10:53	10:56	11:01	11:10	11:14	平日で元町港出帆の日 ※
	11:00	11:06	11:10	11:13	11:16	11:21	11:30	11:34	土休日で元町港出帆の日 ※

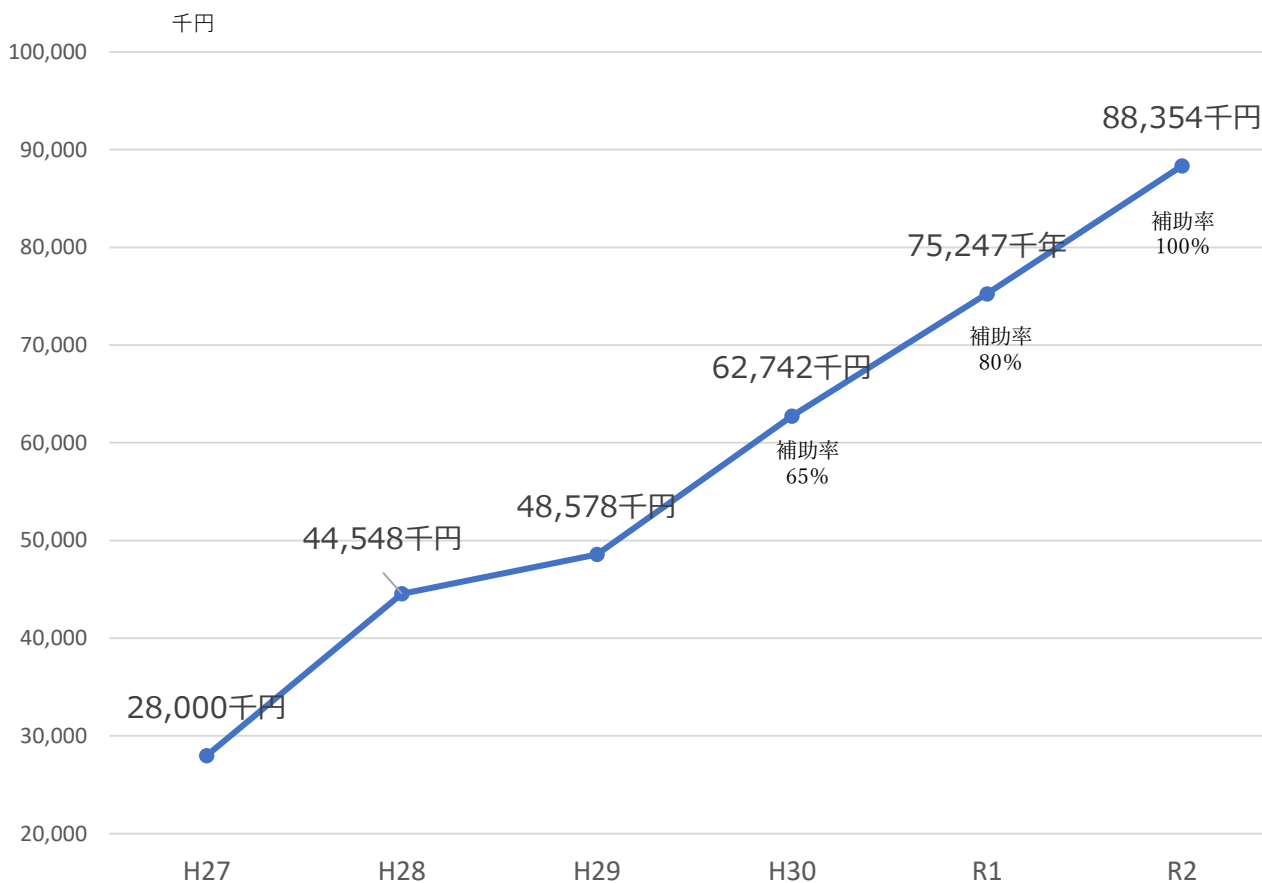
例えば、大島公園ラインの岡田港
方面の2便・3便は出帆港によって
運行ダイヤが異なる。

3. 大島町の現状と課題

3-3. 公共交通の現状

(2) 路線バスの運行サービス内容

大島旅客自動車（株）への補助額推移



※大島公園ライン、波浮港ラインの2路線について、下記計算式より算出

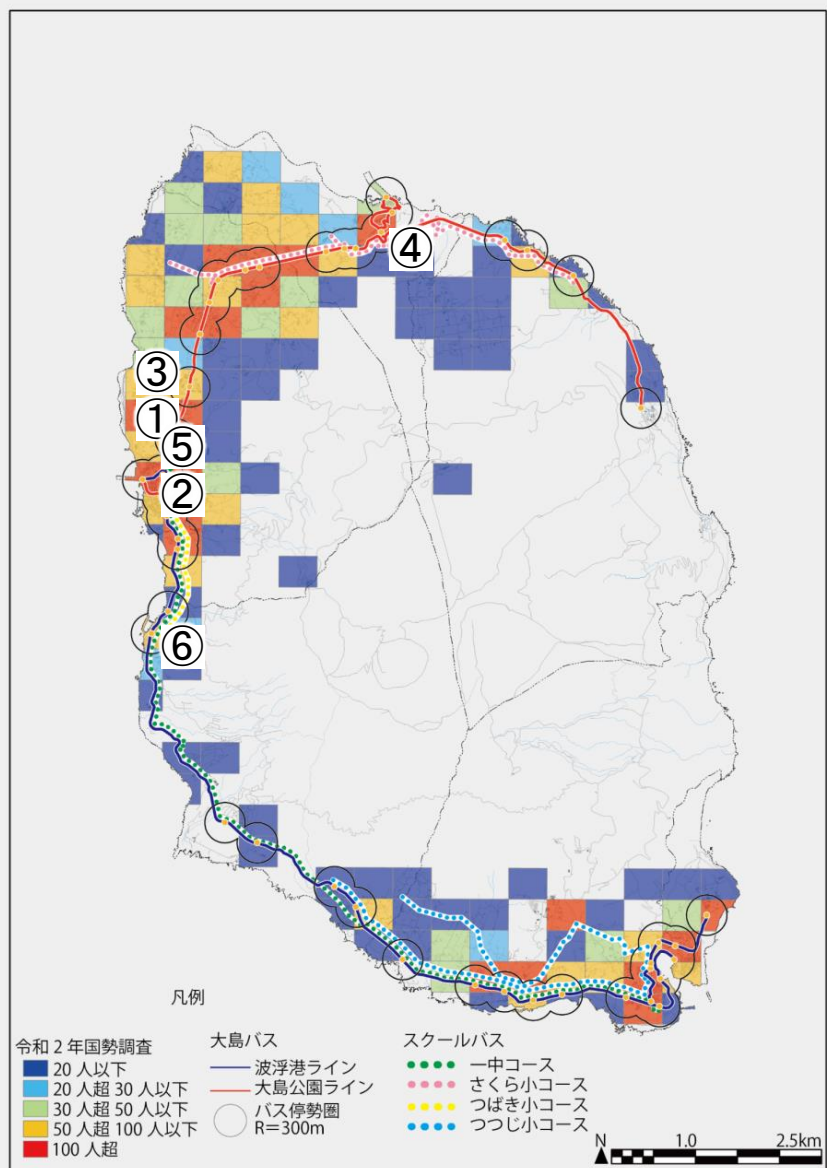
$$(\text{町補助基準額}) = (\text{年間実績経費}) - (\text{対象経費収入額})$$

※補助額については、町補助基準額に年ごとに協議で決定した補助率を乗じて算出

3. 大島町の現状と課題

3-3. 公共交通の現状

(3) タクシー



NO	事業者名	台数
1	大島観光自動車	2台
2	あいタクシー	1台
3	長岡交通	1台
4	宮本交通	3台
5	三原観光自動車	4台
6	花交通タクシー	2台
計		13台

3. 大島町の現状と課題

3-3. 公共交通の現状

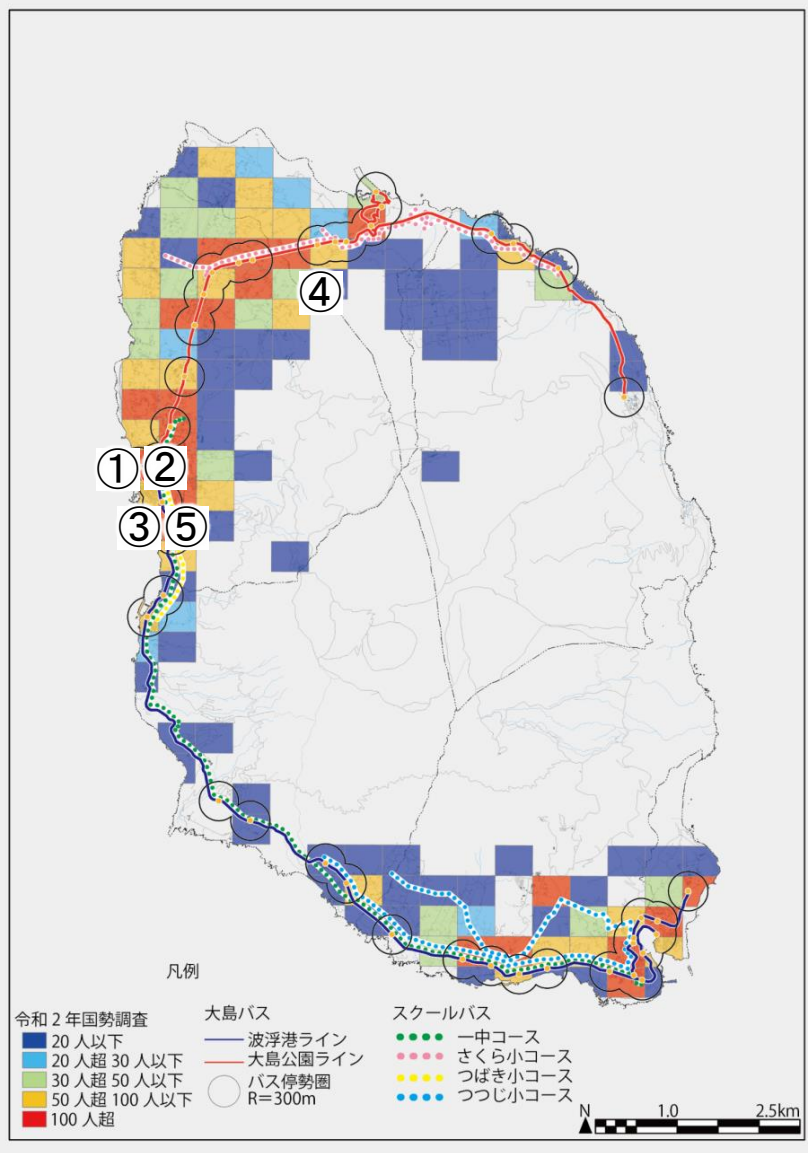
(3) タクシー

分類	ヒアリング結果
タクシーの状況	<ul style="list-style-type: none">• タクシー協会には法人タクシー認可の会社が6社、介護タクシー認可の会社が1社所属• 所属する会社は10年間で少なくとも5社は減少• 10年前は個人タクシーの会社が多かった
住民のタクシー利用の状況	<ul style="list-style-type: none">• 病院や買物に行く際や、島外にある病院に向かう際の港までの移動にタクシーを利用する高齢者が多い• 買物利用はスーパーまで行って、買物が終わるまで待つてほしいという希望を出す人が多い• 大島町は車社会なので、住民はタクシーが利用できない場合でも、誰かが送迎の手助けをしている
来街者のタクシー利用の状況	<ul style="list-style-type: none">• 来島者のタクシー利用は住民よりも多い• 椿祭が開催される2・3月、5月の大型連休、8月に利用者が多くなる• 椿祭の際は、高齢者の方が観光貸切タクシーを利用することが多い• 8月は海水浴利用が多く、出発地から目的地を結ぶ移動が主• ビジネスでタクシーを利用する人が多い

3. 大島町の現状と課題

3-3. 公共交通の現状

(4) レンタカー



NO	事業者名	台数
1	伊豆大島レンタカー	33台
2	トヨタレンタカー	40台
3	元町レンタカー	30台
4	モバイルレンタカー	34台
5	戸井商店	9台
計		146台

3. 大島町の現状と課題

3-3. 公共交通の現状

(4) レンタカー

分類	ヒアリング結果
レンタカーの稼働状況	<ul style="list-style-type: none">約40台のレンタカー車両を保有 ※3年ごとに更新繁忙期は年末年始・2月後半からの椿祭りシーズン・GW・夏季特に夏季は平日・休日問わず、予約ですべて埋まっている繁忙期は他事業者が日帰り客へのレンタルを実施していない場合もあり、予約が集中傾向
レンタカーの利用者層	<ul style="list-style-type: none">夏季以外は平日のビジネス利用が多い夏季は家族連れや若者利用が多い高齢者の利用も増加傾向(高齢者の事故も増加)
レンタカーがない場合の移動手段	<ul style="list-style-type: none">若者はレンタサイクルやレンタルバイクを利用金銭的に余裕ある来島者はタクシーを1日借りる場合もあり
他交通モードとの連携	<ul style="list-style-type: none">以前は東海汽船とのセットプランを提供
近年の大島町内の来島者向けの移動手段の状況	<ul style="list-style-type: none">以前は日本レンタカー・日産レンタカーの店舗もあったが、オーナーの高齢化により閉鎖(町内の大手事業者がトヨタレンタカーのみ)

3. 大島町の現状と課題

3-3. 公共交通の現状

(5) その他移動サービスの状況

1) 宿泊施設

分類	ヒアリング結果
送迎状況	<ul style="list-style-type: none">出帆港や空港までの送迎を実施(多くの事業者は迎え中心、送りは実施していない事業者もあり)小規模な宿泊施設の場合は、オーナーのホスピタリティで島内を案内する場合もあり(積極的に実施してはいない)
送迎車両	<ul style="list-style-type: none">小規模な宿泊施設は8人乗りのワゴンなどを利用大規模な宿泊施設はマイクロバスやワゴンなどを複数台利用
宿泊者の移動手段	<ul style="list-style-type: none">レンタカーでの移動が最も多い(格安レンタカーの利用など)レンタカーを借りられず、困る宿泊者が夏季などには発生
他交通モードとの連携	<ul style="list-style-type: none">東海汽船と共同で船と宿泊施設のセット商品を販売島内を観光目的で周遊するための移動手段が乏しいことに問題意識(大島来島の意欲や機会の損失)
近年の大島町内の来島者の移動状況	<ul style="list-style-type: none">以前は観光ツアーでの来島が多かったが、近年は個人で移動するケースが増加“バームクーヘン”や“裏砂漠”などレンタカー以外では来訪しづらい観光名所が多いバスの場合、元町港での乗り継ぎがネックとなる

3. 大島町の現状と課題

3-3. 公共交通の現状

(5) その他移動サービスの状況

2) 社会福祉協議会の送迎

分類	ヒアリング結果
送迎状況	<ul style="list-style-type: none">受託事業と自主事業での移動支援を実施受託事業は医療機関等送迎サービス事業自主事業は移送サービスを実施
送迎車両	<ul style="list-style-type: none">各サービスでは8人乗りのバンを利用利用者の中には8人乗りのバンでも入りづらい細い道路沿いに家がある方もいる
運営状況	<ul style="list-style-type: none">各事業で協議会職員が事務窓口を担当医療機関等送迎サービス事業や移送サービスは協議会職員(非常勤やパートタイム)が運転手となり送迎人手はちょうどよい状況
サービスの方向性	<ul style="list-style-type: none">移動手段としてだけでなく、利用者の様子も把握して、必要に応じてかかりつけ医などと情報共有しているため、今後もサービスは継続したいと考えている

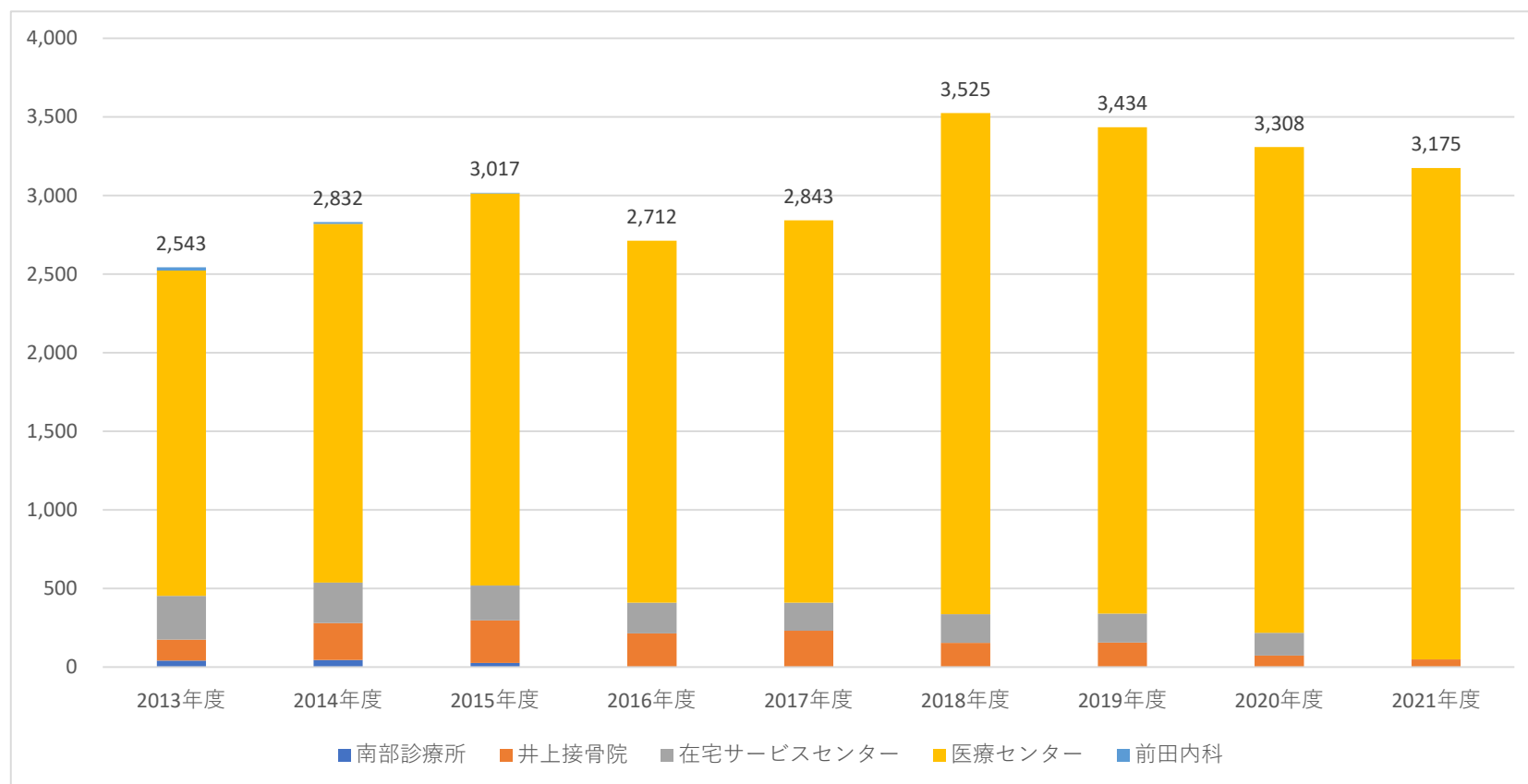
3. 大島町の現状と課題

3-3. 公共交通の現状

(5) その他移動サービスの状況

2) 社会福祉協議会の送迎

社会福祉協議会が町の委託で実施している医療機関送迎サービスの利用は減少傾向である。
主な移動先は医療センターである。



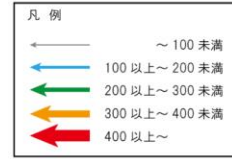
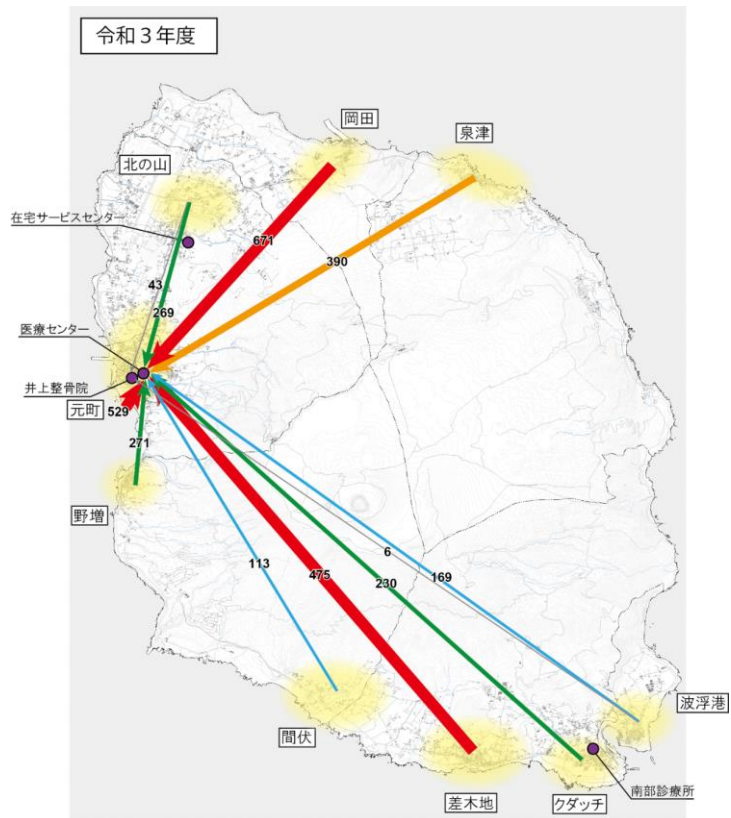
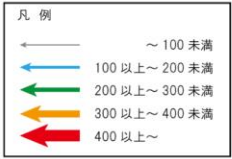
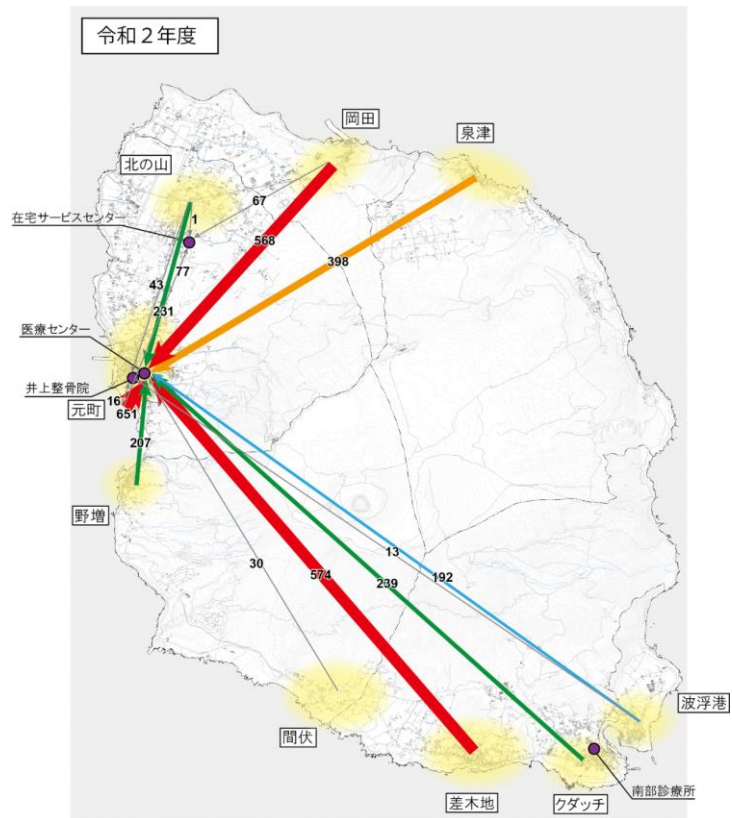
3. 大島町の現状と課題

3-3. 公共交通の現状

(5) その他移動サービスの状況

2) 社会福祉協議会の送迎

医療機関送迎サービスの利用の傾向は経年でも変化はなく、各地区から大島医療センターへの移動が主である。



3. 大島町の現状と課題

3-3. 公共交通の現状

(5) その他移動サービスの状況

3) 観光協会

分類	ヒアリング結果
来街者の移動	<ul style="list-style-type: none">• 来島者の主な移動手段はレンタカー• 繁忙期（椿祭、夏休み、ゴールデンウィーク）や3連休では特にレンタカー貸出台数が多くなる。• 椿祭の時期には観光貸切バスが運行、高齢者の利用が多い• 公共交通を利用する人には、ビーチに行くのみで他の場所には行かない等、目的地が限定され、周遊しないという傾向• 個人の自転車で移動する人もいる• レンタサイクルは秋・春シーズンでの利用が多い
来街者の移動に関する課題	<ul style="list-style-type: none">• レンタカーの予約が取りづらい、バスの時間が合わない、山へ行く方法がないという声が多くなる• 島内での移動では高低差が大きいため、レンタサイクルは電動自転車を利用しないと移動が大変である• 持ち込んだロードバイクをバスに載せることはできないかという来島者の声もある。
今後の取組みに関する問題意識	<ul style="list-style-type: none">• 閑散期である秋・春の観光客を増やして、底上げ• スポーツ等のイベントで年1回来島する人がほとんどであり、イベント時以外で観光客を増やすことが課題

3. 大島町の現状と課題

3-3. 公共交通の現状

(5) その他移動サービスの状況

5) その他輸送サービス

所管課	事業名	金額	受託業者	施策内容
福祉けんこう課	多目的移送事業	3,917,402円	(一社) タクシー協会	人工透析患者や黒潮作業所に通う障害者を対象に、医療機関や施設の送迎を行っている。 運航日 毎週月・水・金 年間運行日数 157日 (透析通院4名・黒潮作業所8名)
	患者輸送事業	2,963,814円	(医) 藤清会 (福) 大島社会福祉協議会	寝たきり等、自力で乗り降り等移動することが困難な方を対象に輸送を行っている。 藤清会 30件、大島社会福祉協議会 431件
	医療機関等送迎サービス事業	9,924,000円	(福) 大島社会福祉協議会	おおむね65歳以上の高齢者で交通の便などで通院に困難が伴う方を対象に医療機関等に送迎している。 利用人数 3,308人
住民課	地域支え合い事業 外出支援サービス事業	5,064,340円	(福) 大島社会福祉協議会 (住民課事業)	65歳以上の方が対象 (なごみの家に登録必要) で、介護予防施策や自立した生活確保のため、外出支援として週一回決まった日に買い物等の送迎を行っている。 利用人数 683人
	高齢者地域サロン事業	5,247,863円	なごみの家 (福) 大島社会福祉協議会 みつばち (同) ライフサポート (住民課事業)	65歳以上の方が対象で、地域におけるサロン (寄り合い場) では、ものづくりや運動などの介護予防教室を行っており、会場までの送迎を行っている。また、みつばちは週一回決まった日に買い物困難者の対応もしている。 利用人数 なごみの家1,110人 みつばち1,060人 委託金額 なごみの家 2,992,863円 みつばち2,255,000円
	医療機関送迎サービス	10,800,000円	(福) 大島社会福祉協議会 (住民課事業)	送迎用車両により居宅と病院等との間を送迎する。また、その他町長が特に必要と認める送迎を行う。 大島町に住所を有するおおむね65歳以上の一般交通機関の利用が困難な病院等通院高齢者で、かつ別に定めた事項に該当する者 利用者数 H30 3,523人 H31 3,434人 R2 3,308人
教育文化課	通学バス運行管理費	22,053,542円	(一社) タクシー協会	遠距離通学となる小学生を対象とした通学バスの運行 バス保有台数 28人乗り4台、14人乗り4台 運行日数 つばき小学校192日、さくら小学校191日、つつじ小学校201日、その他 (臨時便) 61日
	遠距離通学費の支給	105,300円		遠距離通学となる者を対象に通学費としてバスの回数券を支給 椿トンネル～さくら小学校入口 1名4回 泉津～さくら小学校入口 3名5回 間伏～三中前 2名5回
	計	60,076,261円		

3. 大島町の現状と課題

3-3. 公共交通の現状

(6) 人口カバー率

各地区は路線バスによって、幹となるネットワークが形成されている。

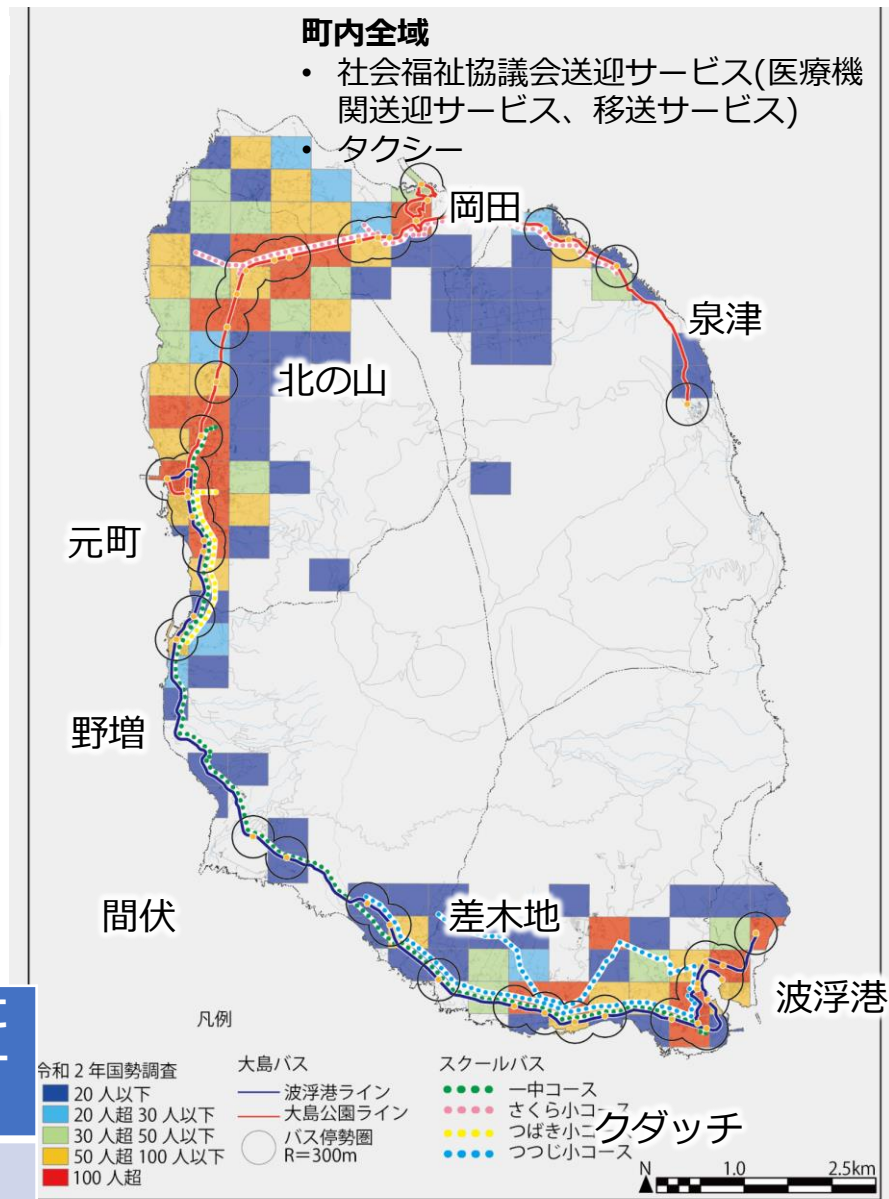
- バス停300m圏の居住人口は約3,100人
- バスでのカバー率は人口の半分未満

路線バスでカバーされていないエリアについても、タクシーやその他の複数のサービスで移動をカバーしている。

【その他のサービス】※路線等の重複あり

- スクールバス
- 社会福祉協議会送迎サービス

総人口 (令和2年国勢調査)	路線バスによる カバー人口 (バス停300m圏域)	路線バスによるカバー 率
7,327人	3,060人	41.7%



※バス停は観光利用が主である三原山ラインを除く

3. 大島町の現状と課題

3-4. 町民の移動実態

(1) アンケートの概要

- ・ 町民の移動実態把握のためにアンケート調査を実施

実施期間：11月14日（月）～12月4日（日）

調査目的：日常の外出状況

地域公共交通の利用状況・ニーズ

運転免許の保有状況や自動車の利用状況 などの把握

対象者：①大島町に住民登録されている15歳以上の方から無作為に
抽出された 約1,000世帯

②町役場の職員及び家族

備考：調査票を郵送配布、回答は紙調査票とWEB調査票を準備
紙調査票は1世帯あたり2通配布

3. 大島町の現状と課題

3-4. 町民の移動実態

(1) アンケートの概要

分類	内容
移動の目的地	<ul style="list-style-type: none">各目的で元町への移動の割合が高く、元町が様々な目的での中心地となっている。買い物では、元町・北の山への移動の占める割合が高い。南部では、クダッチにも移動需要がみられる。
移動手段	<ul style="list-style-type: none">自家用車(自分で運転)の占める割合が8割以上となっている。通学や買い物、通院でバス・タクシーの利用がみられる
路線バスの利用頻度	<ul style="list-style-type: none">ほとんど利用したことがない住民が約8割を占める。各地区で僅かだが週数回・月数回の利用がみられる。
路線バスの利用理由	<ul style="list-style-type: none">主な利用理由は自動車の運転などほかの方法で移動できないこととなっている。
路線バス利用の困りごと	<ul style="list-style-type: none">特に昼間の運行本数の少なさが困りごととして挙がっている。運賃の高さやキャッシュレス未対応も挙がっている。
高齢者の移動の不安	<ul style="list-style-type: none">各地区で共通して、自動車を運転できなくなった際に移動できなくなることが不安として挙がっている。
公共交通以外の移動手段の有無	<ul style="list-style-type: none">町全体で約4割、地区によっては半数以上が公共交通以外の移動手段がない(家族等に送迎を依頼できない)。公共交通がなくなった場合、買い物や通院で困る住民が発生する。
ニーズ	<ul style="list-style-type: none">スマホアプリで呼べるタクシーの取組みニーズが高い

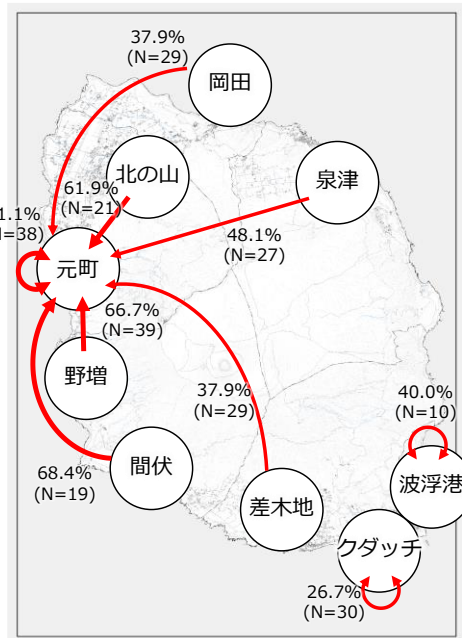
3. 大島町の現状と課題

3-4. 町民の移動実態 (2) 地域間交通流動

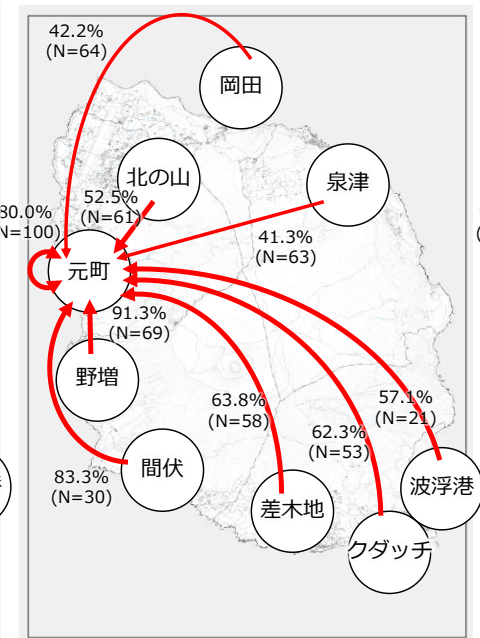
地域間交通流動をみると、通勤、買い物、通院、趣味・娯楽のいずれの目的でも、各地域から元町に流動が集中していることが分かる。

通院については、回答者のほとんどが大島医療センターを通院先としている。

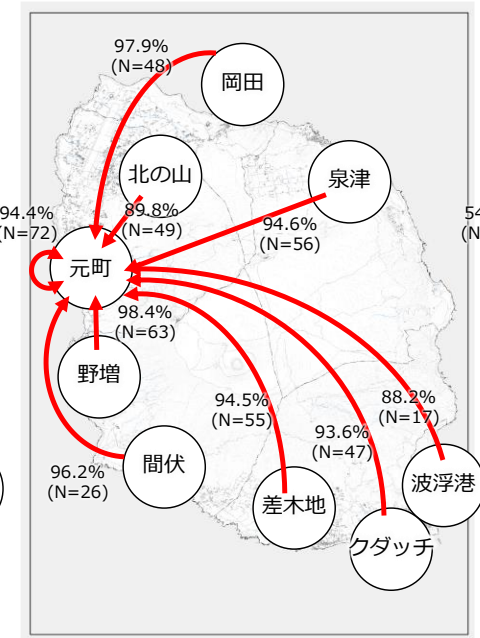
■通勤



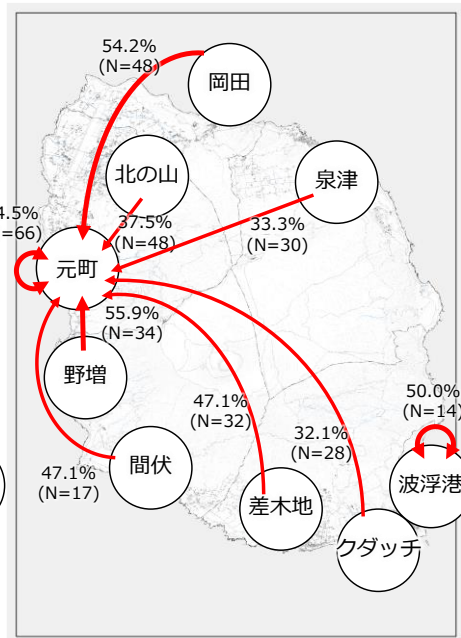
■買い物



■通院



■趣味・娯楽



■主な買い物施設
(N=424、複数回答)

施設名	件数
ショッピングセンターベにや	187
さむかわ食品館	182
大島ストア	127

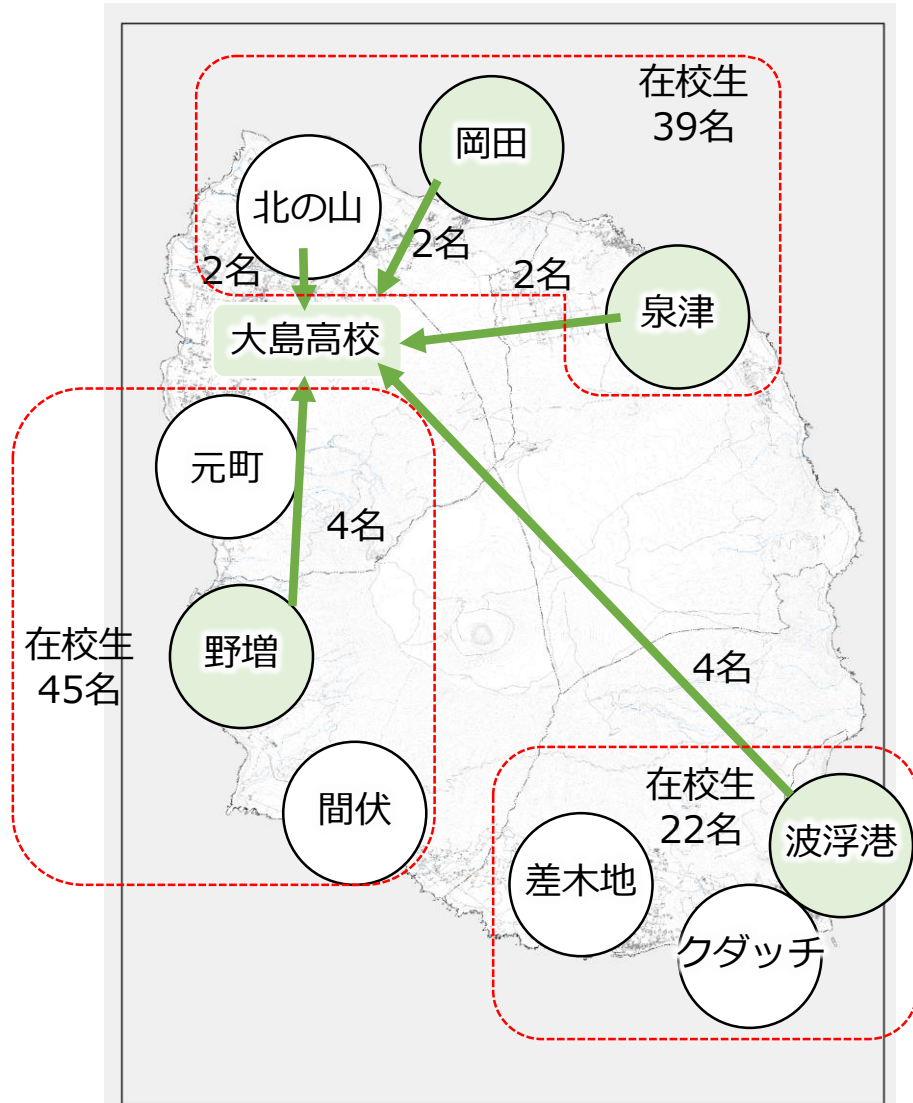
■主な通院施設
(N=389、複数回答)

施設名	件数
大島医療センター	365
大島ファミリー歯科	9

3. 大島町の現状と課題

3-4. 町民の移動実態 (2) 地域間交通流動

《参考》大島高校への通学のバス利用の状況

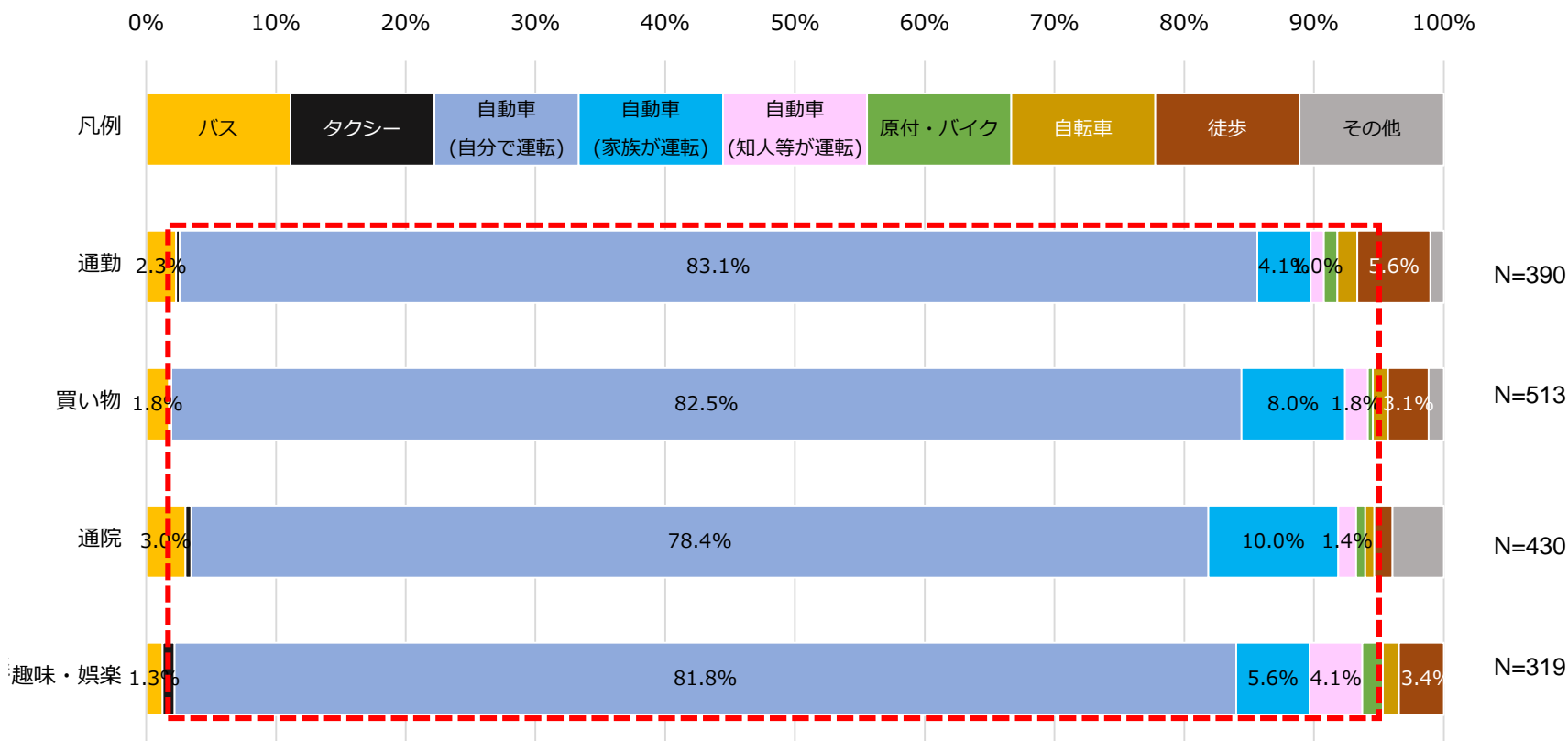


3. 大島町の現状と課題

3-4. 町民の移動実態 (3) 利用交通手段

各目的で自動車の利用が顕著であり、約8割が自動車を自分で運転している。
家族や知人での送迎も含めると、各目的で約9割が自動車で移動している。

目的別の移動手段

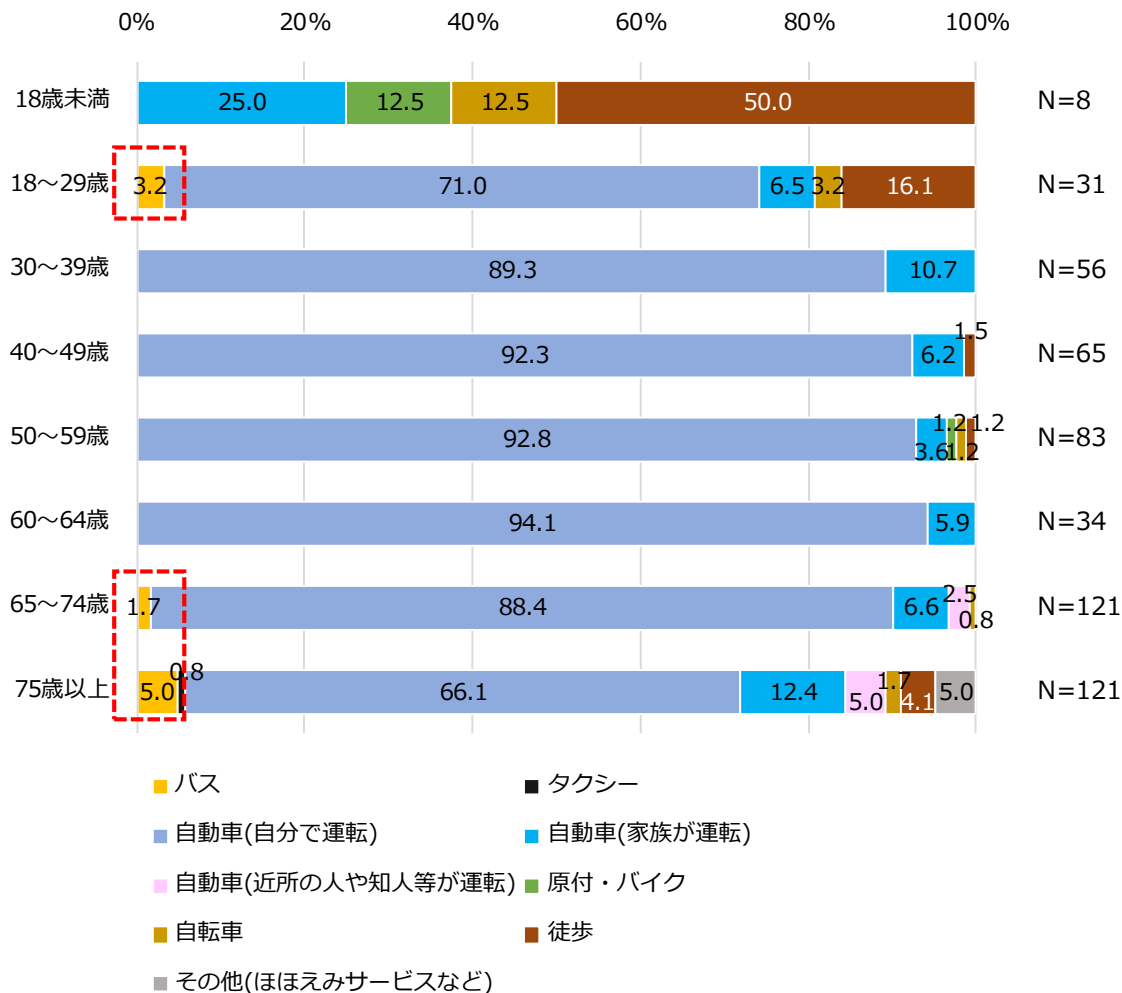


3. 大島町の現状と課題

3-4. 町民の移動実態 (3) 利用交通手段

20歳代および65歳以上の高齢者でわずかながらバスの利用が見られる。

年齢別の買い物での利用交通手段分担率

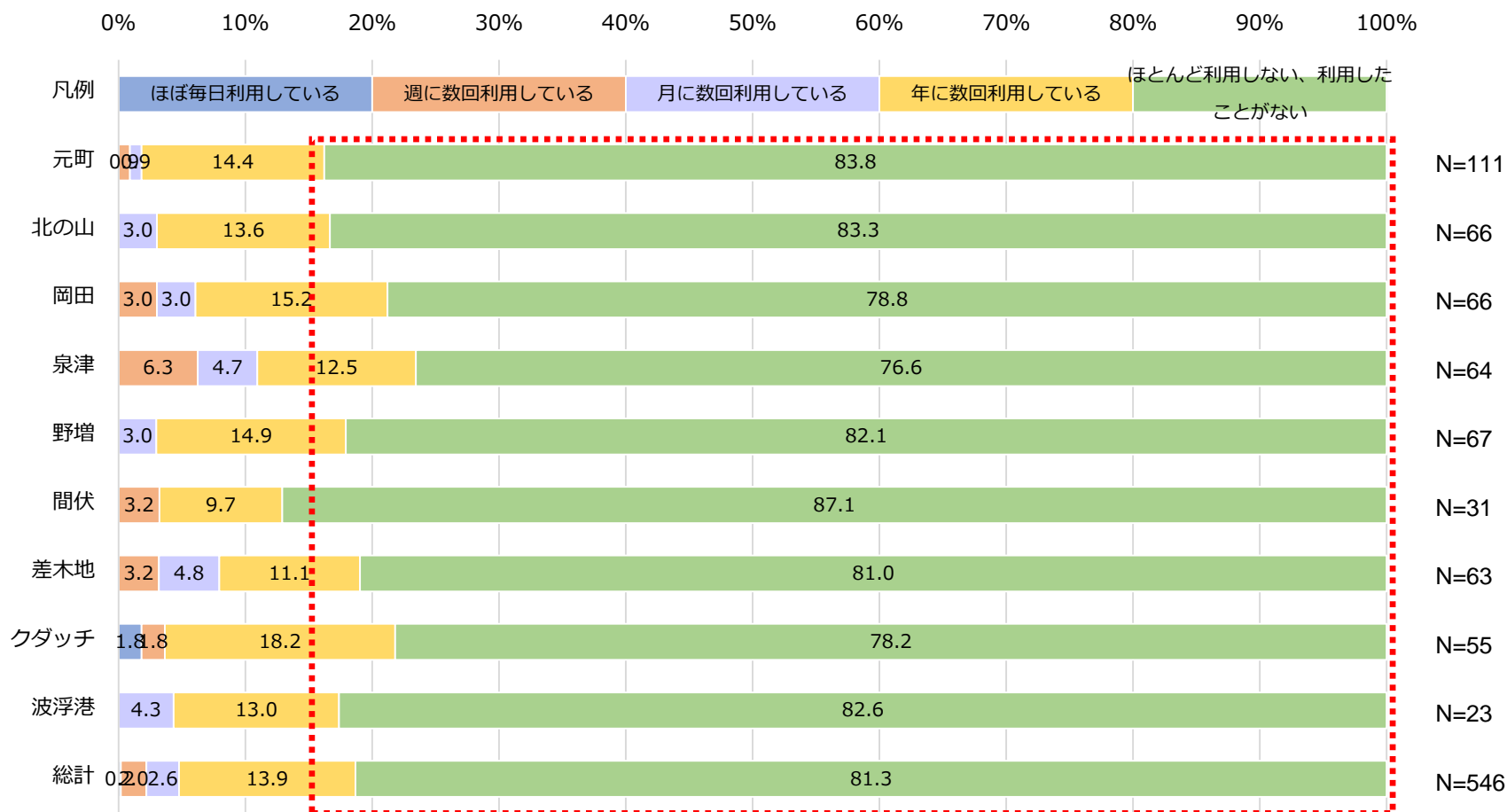


3. 大島町の現状と課題

3-4. 町民の移動実態 (4) 路線バスの利用実態

全地区において、「ほとんど利用しない・利用したことがない」という回答が約8割である。

居住地別の路線バスの利用頻度



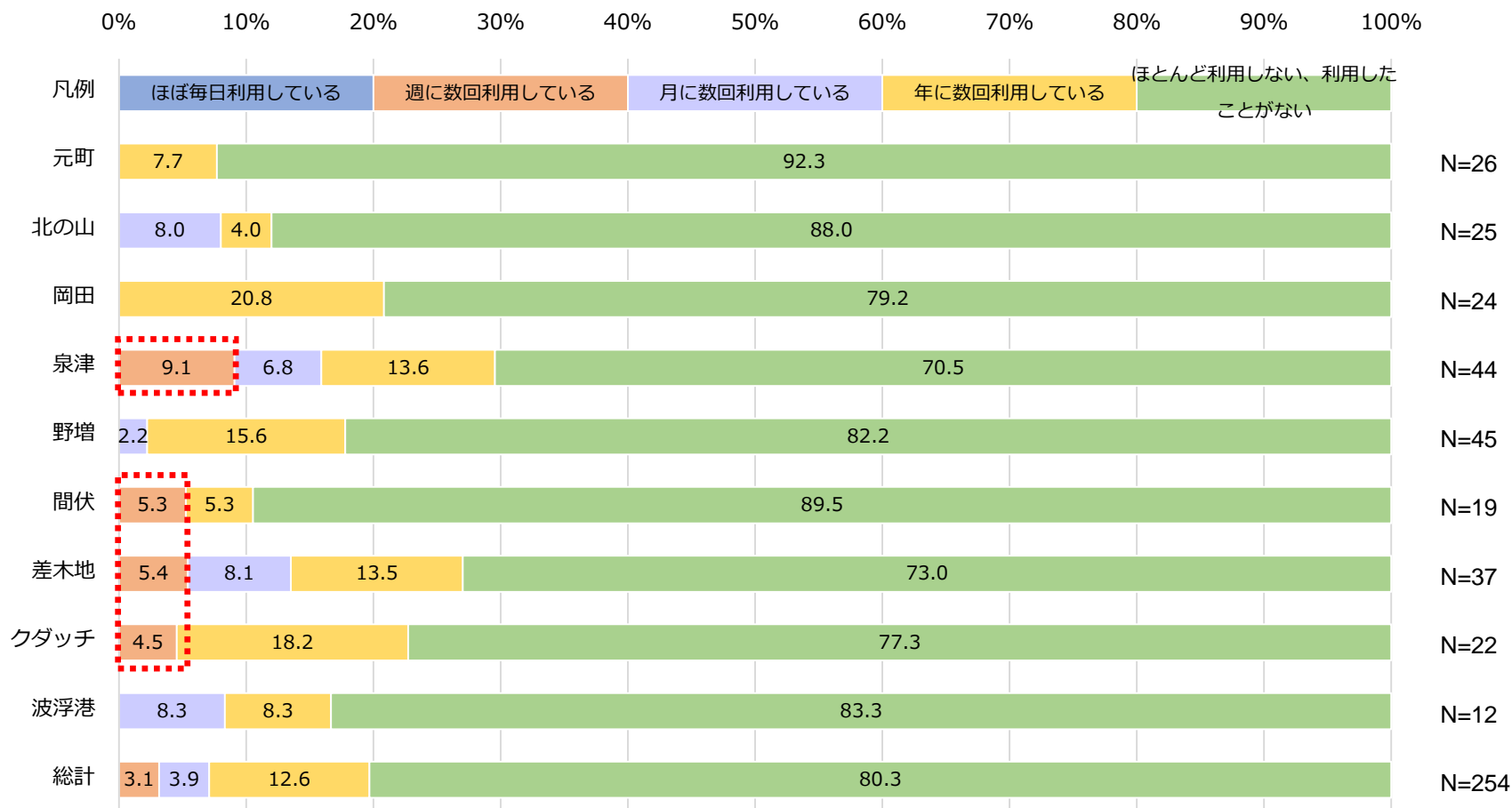
3. 大島町の現状と課題

3-4. 町民の移動実態

(4) 路線バスの利用実態(高齢者)

泉津や間伏・差木地・クダッチでは週に数回利用の割合が高くみられる。
事業者へのヒアリングの結果、泉津では都立大島公園で働く高齢者が通勤目的のため、定期的に利用していることが分かっている。

居住地別の路線バスの利用頻度(65歳以上)



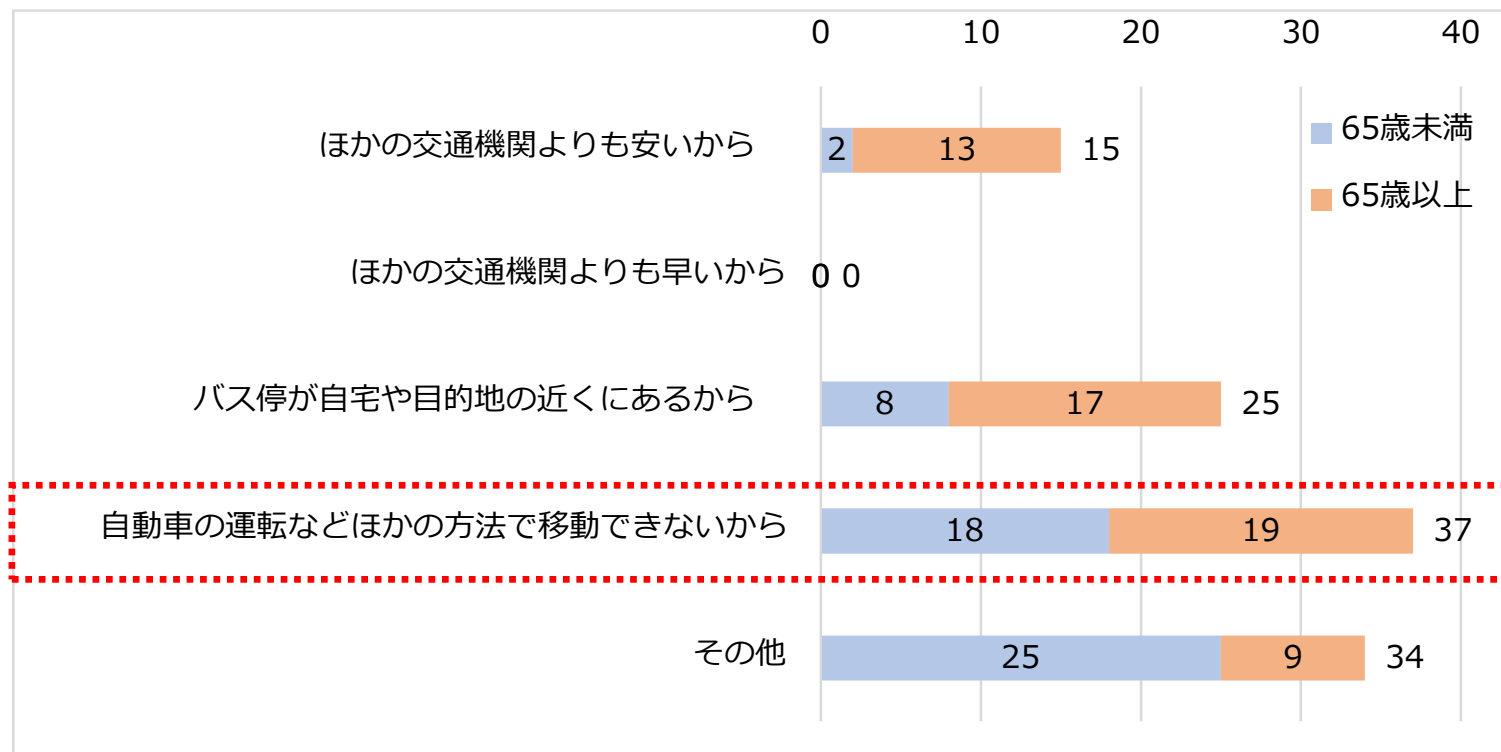
3. 大島町の現状と課題

3-4. 町民の移動実態

(4) 路線バスの利用実態

自動車の運転などほかの方法で移動できないためのバス利用が多くみられる。
特に65歳以上では、自動車の運転などほかの方法で移動できないことが路線バスを利用する理由で最も多い。

路線バスの利用理由



その他のほとんどは
「出帆港と帰島港が異なるときに利用」

3. 大島町の現状と課題

3-4. 町民の移動実態

(4) 路線バスの利用実態

各地区での路線バス利用の際の困りごとは下記の通りである。

【元町】

「キャッシュレスに対応していない」を選択した人の割合が最も高い。

【北の山】

「運賃が高い」「朝や夕方時間帯の便数が少ない」「夜の時間帯の便数が少ない」を選択した人の割合が高い。

【岡田】

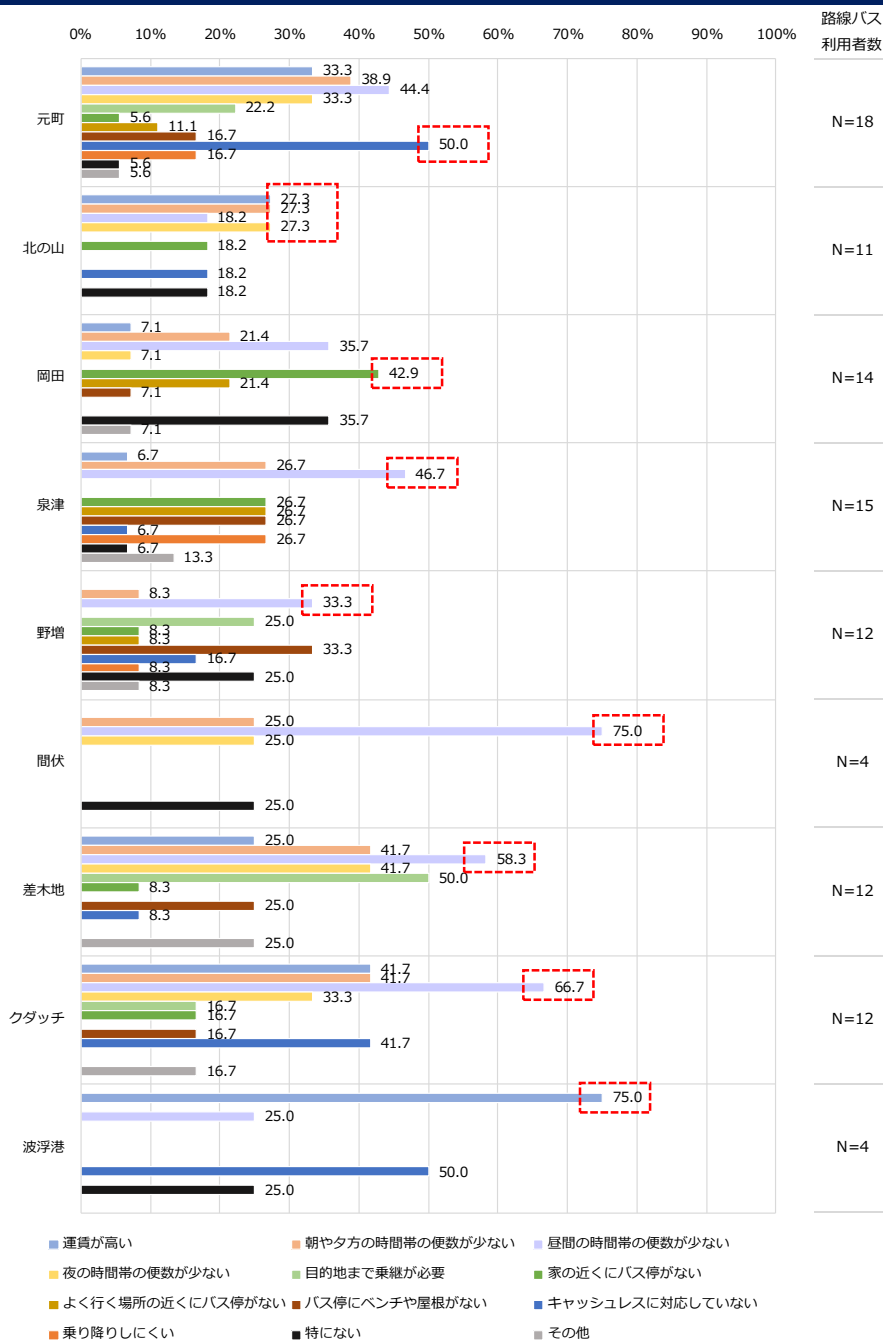
「家の近くにバス停がない」を選択した人の割合が最も高い。

【泉津・野増・間伏・差木地・クダッチ】

「昼間の時間帯の便数が少ない」を選択した人の割合が高い。

【波浮港】

「運賃が高い」を選択した人の割合が最も高い。



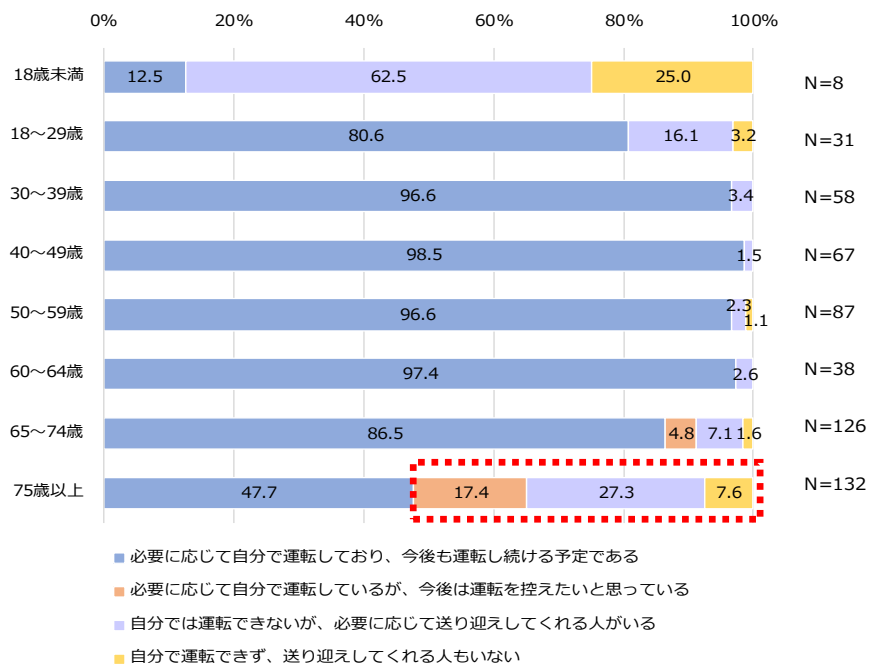
3. 大島町の現状と課題

3-4. 町民の移動実態

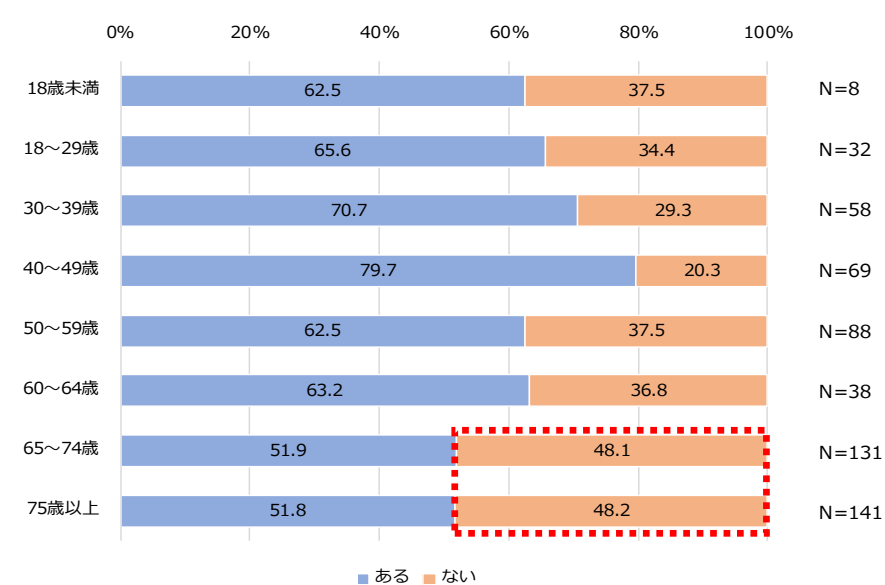
(5) 移動手段の現状や見通しなど

高齢者では、運転を控えたいという意向が見られる。
 また、運転できない高齢者や、運転できず送迎してくれる人もいない高齢者が75歳以上で高い割合となっている。
 65歳以上で、代替手段がないと回答する割合が50%近くを占めている。

移動の現状や見通し



公共交通以外の代替手段

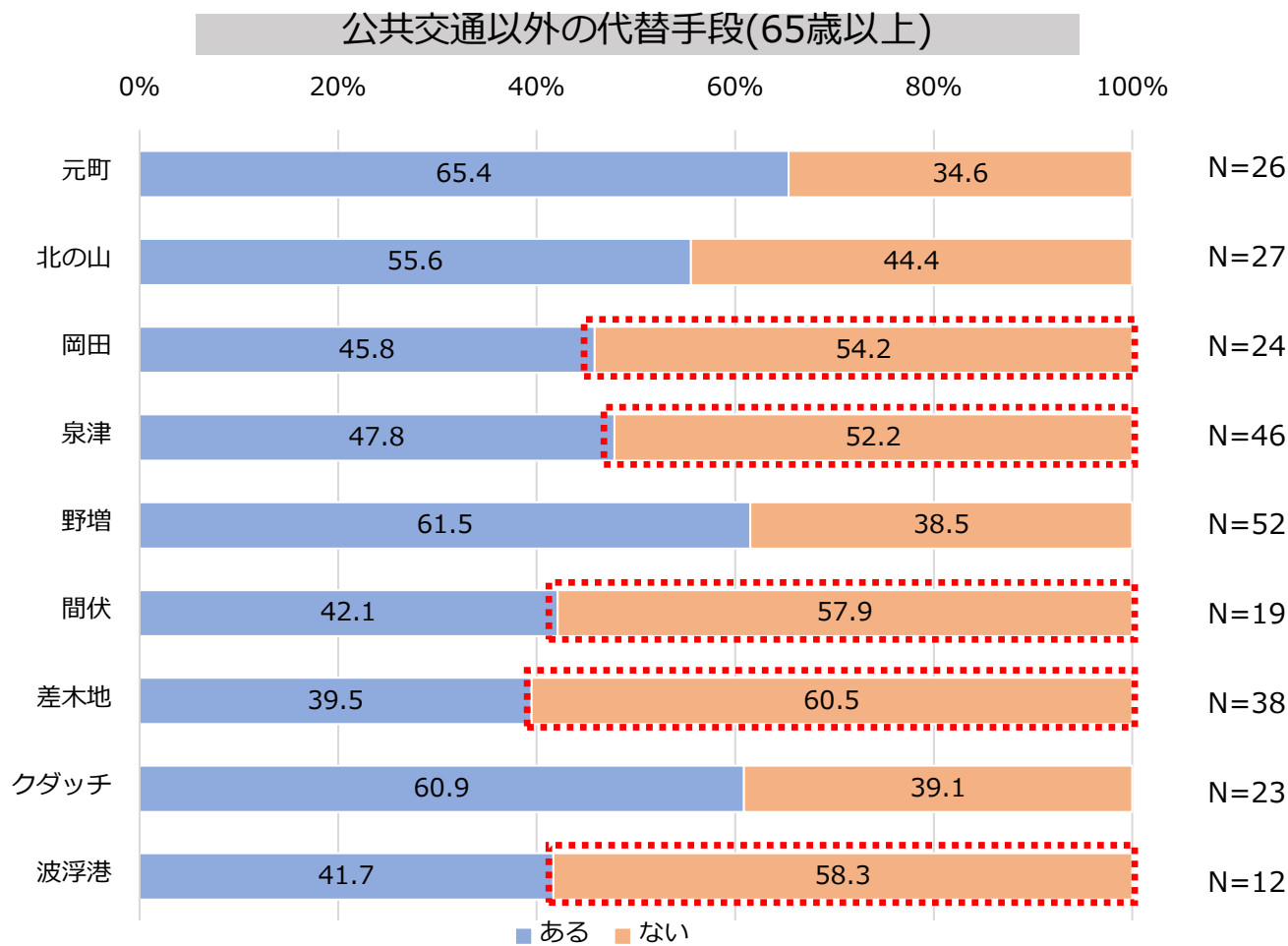


3. 大島町の現状と課題

3-4. 町民の移動実態

(6) 高齢者の将来の移動に対する不安

公共交通以外の代替手段の有無を65歳以上を対象にしてみると、泉津や岡田・間伏・差木地・クダッチでは、公共交通以外の代替手段がない高齢者の占める割合が50%を超えている。



3. 大島町の現状と課題

3-4. 町民の移動実態

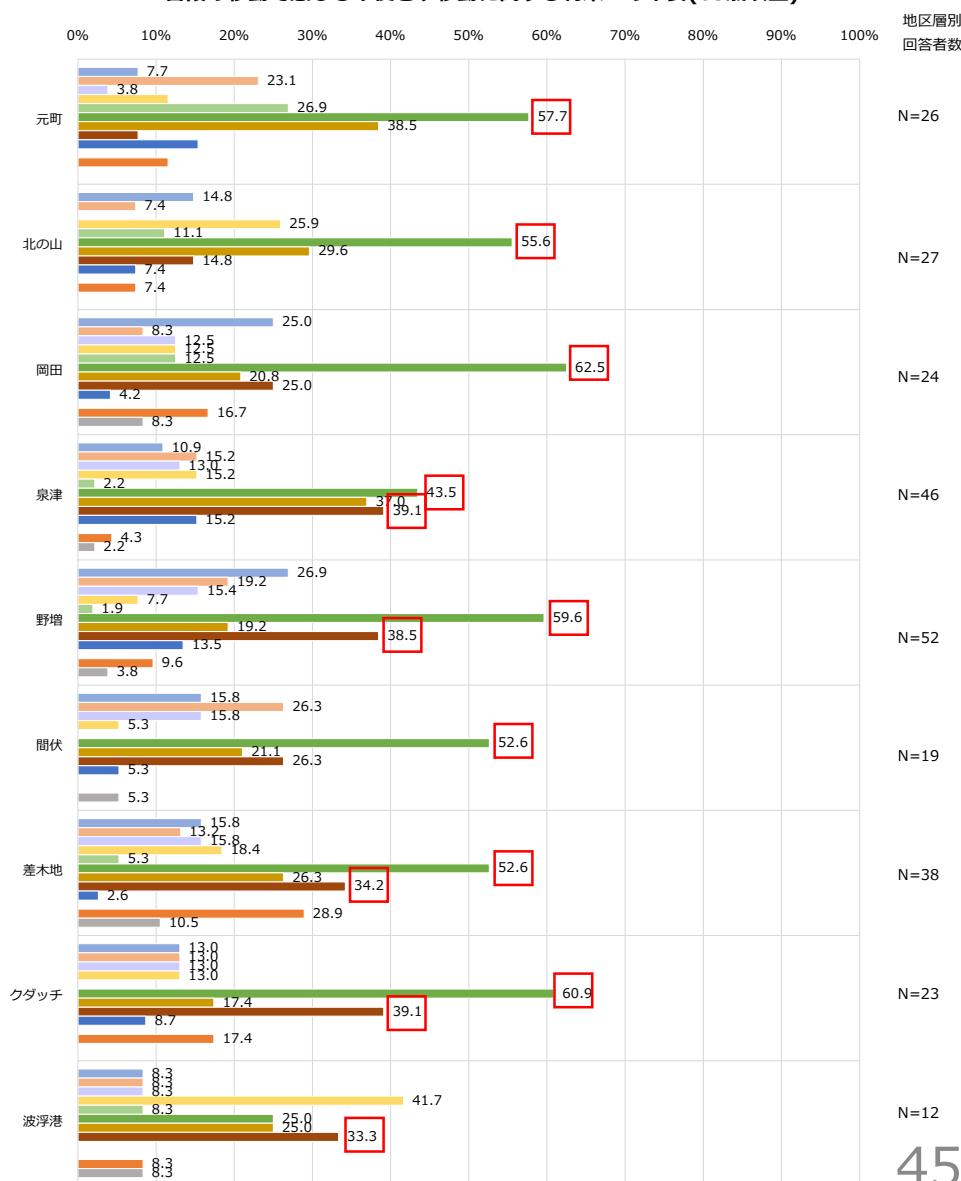
(6) 高齢者の将来の移動に対する不安

各地区で「自動車を運転できなくなったら、移動できなくなるかもしれない」が高齢者の不安として最も高い割合となっている。

また、泉津や差木地、クダッチ、波浮港では、「路線バスがなくなったら、移動できなくなるかもしれない」が移動に対する不安として上位に挙がっている。

- 狭い道や急な坂道が多く、徒歩や自転車の移動が大変である
- 狭い道や急な坂道が多く、自動車の運転が大変である
- 観光客の自動車の運転が危険である
- 誰かに送迎を手伝ってもらわないと移動できない
- 誰かの送迎を手伝わなければならない時があり、大変である
- **自動車を運転できなくなったら、移動できなくなるかもしれない**
- 送迎を手伝ってくれる人がいなくなったら、移動できなくなるかもしれない
- **路線バスがなくなったら、移動できなくなるかもしれない**
- タクシーがなくなったら、移動できなくなるかもしれない
- スクールバスがなくなったら、移動できなくなるかもしれない
- 施設送迎などがなくなったら、移動できなくなるかもしれない
- その他

普段の移動で感じる不便さや移動に関する将来への不安(65歳以上)



3. 大島町の現状と課題

3-4. 町民の移動実態 (7) アンケートまとめ

【普段の移動】

- 様々な目的の目的地が元町地区に集中
 - 買い物施設は主に3施設が目的地
 - 通院施設は大島医療センターが主
- 主要な移動手段は自家用車
 - 自分で運転が30歳以上の各年齢層で9割近くを占める
 - 65～74歳の高齢者でも約9割は自分で運転
 - 家族や知人の運転による自家用車移動も含めると、各年齢層でほぼ大半が自家用車で移動
- コロナ禍(R2・R3)と比較すると乗車人数増加
- コロナ禍以前と比較すると半分以下に落ち込み

【バスの利用】

- 各地区で約8割の回答者はバスの利用経験が僅少
- 出帆港が異なる際にバスを利用する傾向あり

【今後の移動】

- 高齢になるに従い、運転を控える傾向
- 公共交通がなくなった場合の代替の移動手段がない高齢者が約5割

3. 大島町の現状と課題

3-4. 町民の移動実態 (8) その他

- 町内の事業者にとり町民としての普段の移動実態をヒアリング

分類	ヒアリング結果
普段の移動	<ul style="list-style-type: none">自家用車で移動出帆港が往復で異なった時にはバスを利用近所で支え合っただけの移動は以前よりも減少(共働き世帯の増加など)元町のほうが買い物先も多く、物価も安いので、買い物目的では元町まで移動
移動の困りごと	<ul style="list-style-type: none">夜に飲酒した際に、タクシーやバスがないため、家族などの送迎に頼らざるを得ない
バスの運行	<ul style="list-style-type: none">医療センターや図書館などの目的施設が大島一周道路から離れており、バスではいけない早朝時間帯には波浮港から大島高校までの直通バスが運行されているが、生徒の帰宅時間の運行なし ⇒帰宅する生徒が夕方に元町港で40分近くバス待ちバスの運行が町役場や大島支庁の就業時間と合っていない

3. 大島町の現状と課題

3-5. 来島者の移動実態

(1) 大島町商工会によるアンケート調査

1) 概要

- 来島者の特徴や伊豆大島の評価を把握するためにアンケート調査を実施

実施期間：2014年11月

調査目的：来島者の属性

来訪目的・場所

伊豆大島の評価 などの把握

対象者：伊豆大島を訪れた来島者

調査方法：岡田港・元町港ほか大島町内の施設での配布

インターネットによる回答

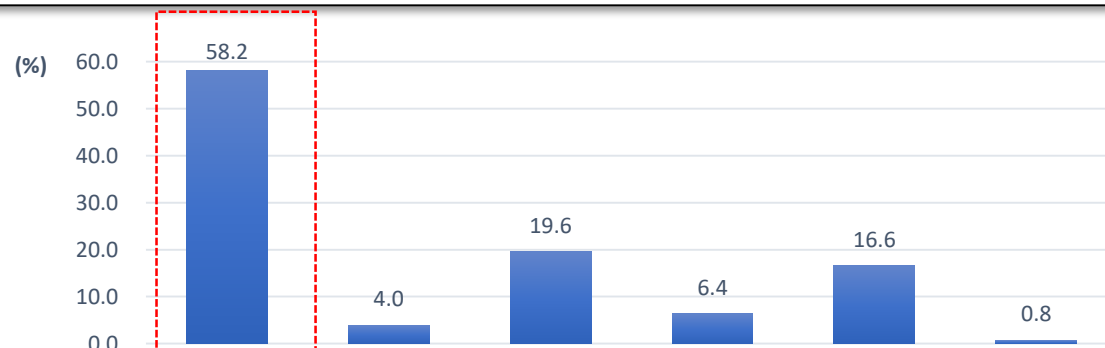
3. 大島町の現状と課題

3-5. 来島者の移動実態

(1) 大島町商工会によるアンケート調査

2) 宿泊地域

約6割の来島者が元町に宿泊している。



		サンプル数	元町	北の山	岡田	波浮港	その他	無回答
全体		100.0	58.2	4.0	19.6	6.4	16.6	0.8
		373	217	15	73	24	62	3
男性	男性小計	100.0	375.8	2.6	19.3	6.3	15.1	1.0
		192	535	5	37	12	29	2
	29歳以下	100.0	693.4	2.4	35.6	4.9	12.2	0.0
		41	852	1	15	2	5	0
	30歳代	100.0	1011.0	0.0	12.2	4.9	24.4	0.0
		41	1170	0	5	2	10	0
	40歳代	100.0	1328.6	3.6	23.6	5.5	21.8	1.8
		55	1487	2	13	3	12	1
50歳代	100.0	1646.2	6.1	12.1	9.1	6.1	0.0	
	33	1805	2	4	3	2	0	
60歳代	100.0	1963.8	0.0	0.0	9.1	0.0	4.5	
	22	2123	0	0	2	0	1	
女性	女性小計	100.0	2281.4	6.1	20.9	6.1	18.2	0.0
		148	2440	9	31	9	27	0
	29歳以下	100.0	2599.0	1.9	28.8	9.6	11.5	0.0
		52	2758	1	15	5	6	0
	30歳代	100.0	2916.6	10.3	12.8	7.7	28.2	0.0
		39	3075	4	5	3	11	0
	40歳代	100.0	3234.2	7.9	15.8	0.0	21.1	0.0
		38	3393	3	6	0	8	0
50歳代	100.0	3551.8	0.0	26.7	6.7	13.3	0.0	
	15	3711	0	4	1	2	0	
60歳代	100.0	3869.4	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	
	4	4028	1	1	0	0	0	

出典：伊豆大島来島者アンケート(平成27年、大島町商工会)

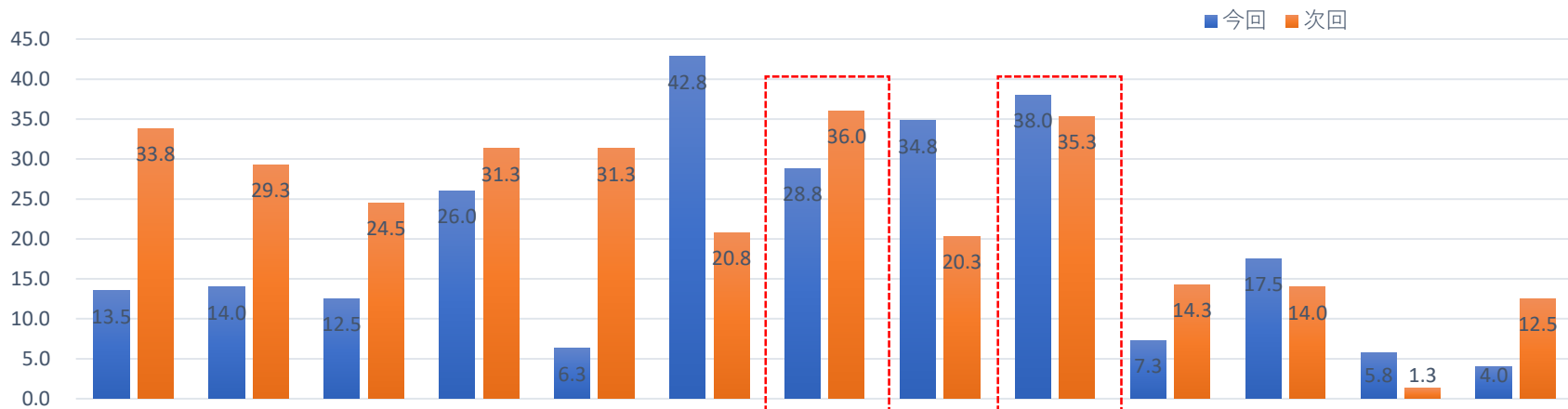
3. 大島町の現状と課題

3-5. 来島者の移動実態

(1) 大島町商工会によるアンケート調査

3) 来島目的

温泉めぐりや食べ歩きなどを行った観光客が多く、次回の訪問でも実施したいとの要望も多い。



	サンプル数	ダイビング	釣り	サイクリング	ジオパーク見物 登山 トレッキング ハイキング	スター ウォッチング	観光スポット めぐり	温泉めぐり	特産品などの 購入	地元ならではの 食事や食べ歩き	体験型観光施 設や工場見学	被災現場の見学	観光はしていない /観光はしたくない	無回答
今回行った観光	100.0	13.5	14.0	12.5	26.0	6.3	42.8	28.8	34.8	38.0	7.3	17.5	5.8	4.0
	400	54	56	50	104	25	171	115	139	152	29	70	23	16
次回行ないたい観光	100.0	33.8	29.3	24.5	31.3	31.3	20.8	36.0	20.3	35.3	14.3	14.0	1.3	12.5
	400	135	117	98	125	125	83	144	81	141	57	56	5	50
「次回」-「今回」		+20.3	+15.3	+12.0	+5.3	+25.0	-22.0	+7.2	-14.5	-2.7	+7.0	-3.5	-4.5	+8.5

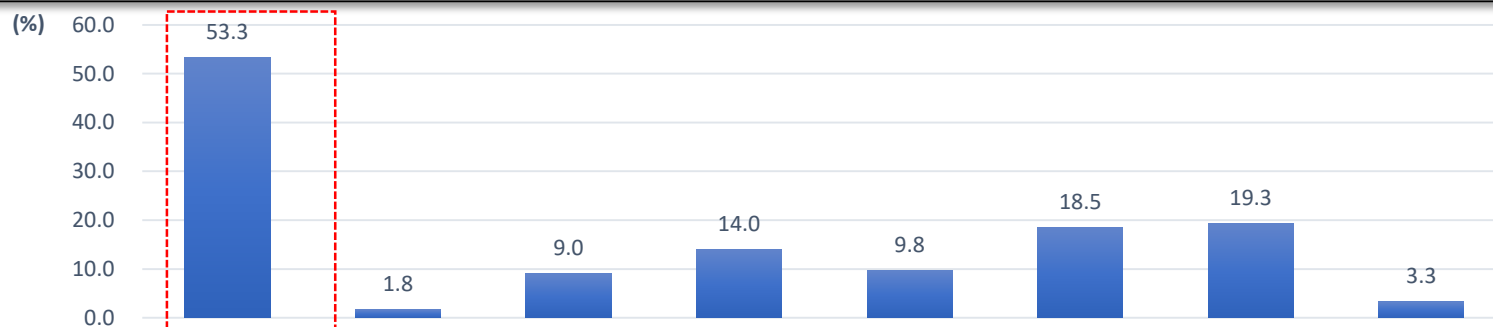
3. 大島町の現状と課題

3-5. 来島者の移動実態

(1) 大島町商工会によるアンケート調査

4) 移動手段

レンタカーでの移動が半数以上で約53%となっている。



		サンプル数	レンタカー	タクシー	観光バス	路線バス	自転車	徒歩	その他	無回答
全体		100.0	53.3	1.8	9.0	14.0	9.8	18.5	19.3	3.3
		400	213	7	36	56	39	74	77	13
男性	男性小計	100.0	57.0	0.9	7.0	11.2	12.1	17.8	16.8	2.3
		214	122	2	15	24	26	38	36	5
	29歳以下	100.0	62.2	2.2	13.3	13.3	13.3	24.4	6.7	0.0
		45	28	1	6	6	6	11	3	0
	30歳代	100.0	62.8	2.3	7.0	9.3	20.9	25.6	7.0	4.7
		43	27	1	3	4	9	11	3	2
	40歳代	100.0	55.9	0.0	6.8	13.6	13.6	13.6	13.6	1.7
	59	33	0	4	8	8	8	8	1	
50歳代	100.0	47.4	0.0	5.3	13.2	7.9	13.2	31.6	2.6	
	38	18	0	2	5	3	5	12	1	
60歳代	100.0	55.2	0.0	0.0	3.4	0.0	10.3	34.5	3.4	
	29	16	0	0	1	0	3	10	1	
女性	女性小計	100.0	48.4	3.3	12.4	20.3	5.9	23.5	22.2	2.6
		153	74	5	19	31	9	36	34	4
	29歳以下	100.0	54.7	1.9	17.0	20.8	5.7	26.4	11.3	0.0
		53	29	1	9	11	3	14	6	0
	30歳代	100.0	52.5	10.0	12.5	20.0	5.0	25.0	25.0	2.5
		40	21	4	5	8	2	10	10	1
	40歳代	100.0	42.5	0.0	12.5	17.5	5.0	15.0	25.0	2.5
	40	17	0	5	7	2	6	10	1	
50歳代	100.0	26.7	0.0	0.0	33.3	13.3	26.7	33.3	13.3	
	15	4	0	0	5	2	4	5	2	
60歳代	100.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	60.0	0.0	
	5	3	0	0	0	0	2	3	0	

出典：伊豆大島来島者アンケート(平成27年、大島町商工会)

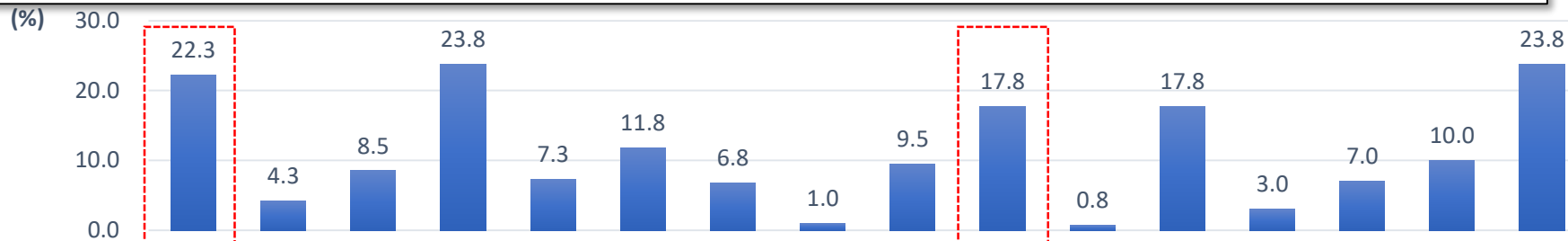
3. 大島町の現状と課題

3-5. 来島者の移動実態

(1) 大島町商工会によるアンケート調査

5) 来島者の不満

「交通の便が良くない」「観光スポット間の移動が大変」など交通に関する不満が上位となっている。



	サンプル数	交通の便が良くない	食事がおいしくない	伊豆大島ならではの食事が食べられない	飲食店が少なく食べたいものがない	宿泊先が快適ではなかった	いろいろなタイプの宿泊施設がない	宿泊の予約が大変	温泉が良くない	観光スポットが少ない、魅力がない	観光スポット間の移動が大変	町の人がやさしくない	買い物しにくい	お店の接客が良くない	旅行が安くすまなかった	その他	無回答	
全体	100.0	22.3	4.3	8.5	23.8	7.3	11.8	6.8	1.0	9.5	17.8	0.8	17.8	3.0	7.0	10.0	23.8	
男性	男性小計	100.0	18.7	5.1	10.3	23.8	7.5	10.3	7.0	1.9	9.3	13.6	1.4	19.2	3.3	8.9	9.3	27.6
	29歳以下	100.0	22.2	2.2	4.4	24.4	4.4	8.9	2.2	2.2	22.2	22.2	0.0	22.2	2.2	13.3	6.7	28.9
	30歳代	100.0	18.6	7.0	7.0	20.9	9.3	16.3	11.6	2.3	14.0	7.0	0.0	14.0	7.0	7.0	11.6	23.3
	40歳代	100.0	15.3	6.8	15.3	18.6	10.2	6.8	8.5	1.7	10.2	15.3	3.4	20.3	1.7	11.9	10.2	23.7
	50歳代	100.0	18.4	0.0	2.6	26.3	7.9	15.8	7.9	2.6	7.9	7.9	2.6	18.4	2.6	7.9	13.2	36.8
	60歳代	100.0	20.7	10.3	24.1	34.5	3.4	3.4	3.4	0.0	13.8	13.8	0.0	20.7	3.4	0.0	3.4	27.6
	女性	25.5	3.9	6.5	25.5	8.5	14.4	5.9	0.0	10.5	25.5	0.0	15.7	3.3	5.9	11.8	18.3	
女性小計	100.0	25.5	3.9	6.5	25.5	8.5	14.4	5.9	0.0	10.5	25.5	0.0	15.7	3.3	5.9	11.8	18.3	
29歳以下	100.0	26.4	1.9	9.4	15.1	13.2	15.1	3.8	0.0	7.5	17.0	0.0	15.1	0.0	1.9	5.7	28.3	
30歳代	100.0	25.0	2.5	2.5	32.5	7.5	10.0	10.0	0.0	10.0	22.5	0.0	7.5	7.5	10.0	15.0	7.5	
40歳代	100.0	22.5	7.5	7.5	30.0	5.0	15.0	5.0	0.0	17.5	35.0	0.0	30.0	2.5	5.0	17.5	15.0	
50歳代	100.0	26.7	6.7	6.7	40.0	6.7	20.0	0.0	0.0	6.7	33.3	0.0	6.7	0.0	13.3	13.3	13.3	
60歳代	100.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0	

出典：伊豆大島来島者アンケート(平成27年、大島町商工会)

3. 大島町の現状と課題

3-5. 来島者の移動実態

(2) 来島者WEBアンケート

1) 概要

- 来島者の移動実態把握のためにアンケート調査を実施

実施期間：2023年2月

調査目的：主な目的地

主な移動手段 などの把握

対象者：大島町に来訪経験のあるWEBモニター400サンプル

調査方法：WEBアンケート調査会社を通じて、大島町に来訪経験のあるWEBモニターにアンケート調査回答画面を配信

3. 大島町の現状と課題

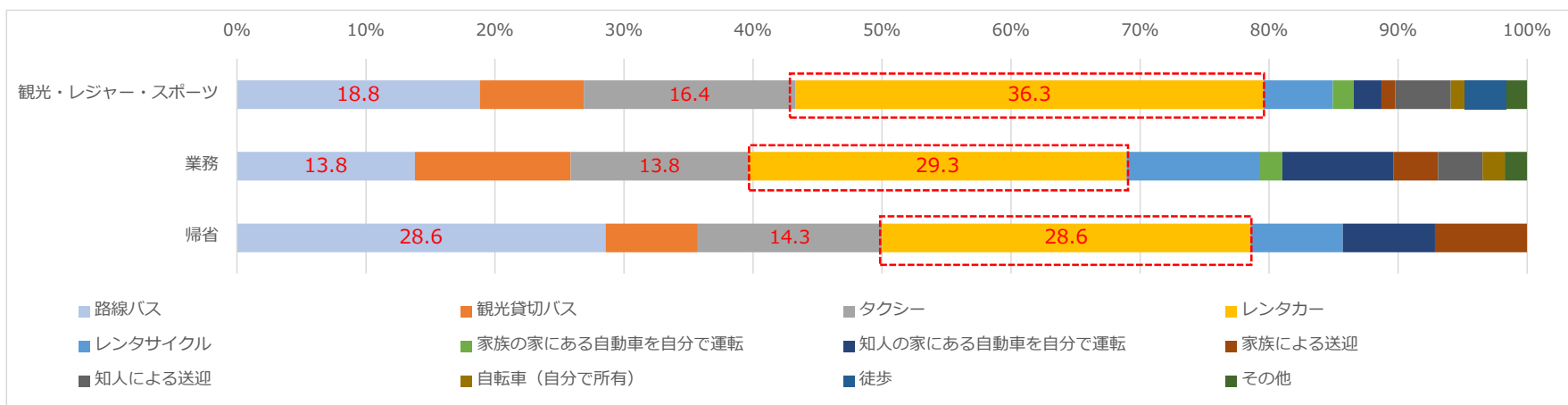
3-5. 来島者の移動実態

(2) 来島者WEBアンケート

2) 到着後の最初の移動手段

全ての来島目的において、来島直後の移動手段はレンタカーが最も多い。
次いで、路線バス、タクシーの順で利用率が高くなっている。

	n	路線バス	観光貸切バス	タクシー	レンタカー	レンタカー送迎車	家族の家に ある自動 車を自分 で運転	知人の家 にある自 動車を自 分で運 転	家族による 送迎	知人による 送迎	自転車 (自分で 所有)	徒歩	その他
観光・レジャー・スポーツ	372	18.8	8.1	16.4	36.3	5.4	1.6	2.2	1.1	4.3	1.1	3.2	1.6
業務	58	13.8	12.1	13.8	29.3	10.3	1.7	8.6	3.4	3.4	1.7	0.0	1.7
帰省	14	28.6	7.1	14.3	28.6	7.1	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	6	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	33.3	0.0	0.0



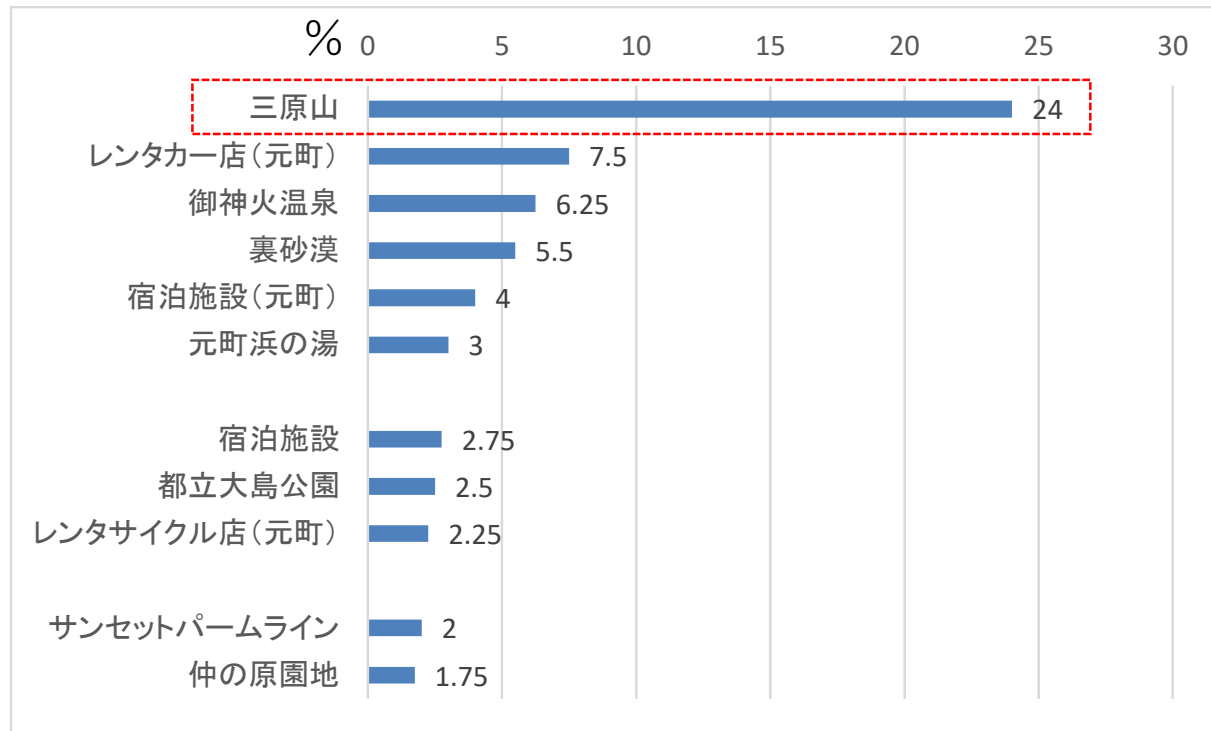
3. 大島町の現状と課題

3-5. 来島者の移動実態

(2) 来島者WEBアンケート

3) 到着後の最初の目的地

- ・来島直後の最初の目的地として、三原山が最も高い割合となっている。
- ・元町のレンタカー店や御神火温泉を最初の目的地としている割合も高くなっている。



3. 大島町の現状と課題

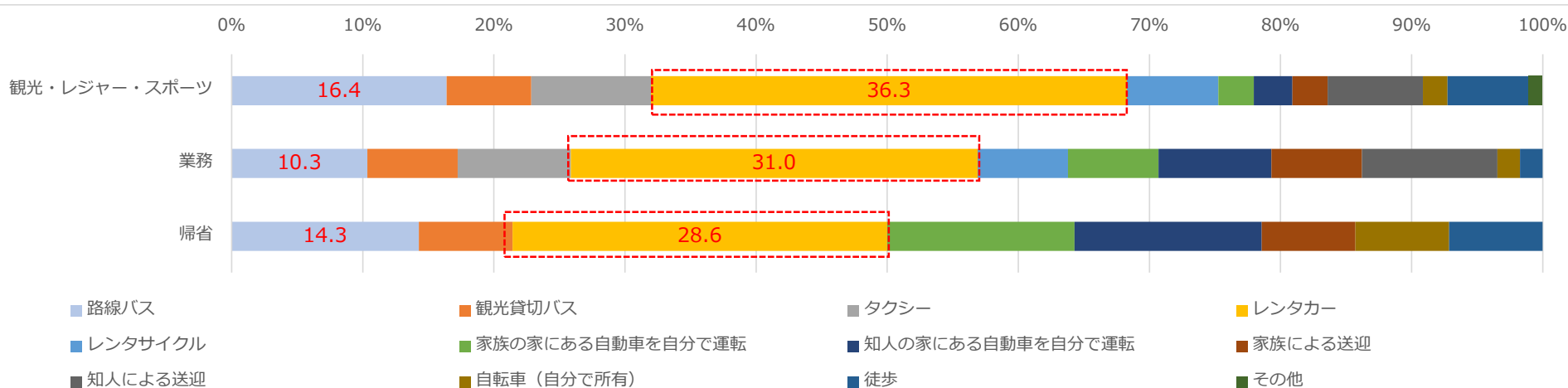
3-5. 来島者の移動実態

(2) 来島者WEBアンケート

4) 島内での主な移動手段

- ・各目的で「レンタカー」の占める割合が最も高い
- ・観光・レジャー・スポーツでは、路線バスの利用割合も高い

	n	路線バス	観光貸切バス	タクシー	レンタカー	レンタサイクル	家族の家に ある自動 車を自分 で運転	知人の家 にある自 動車を自 分で運 転	家族による 送迎	知人による 送迎	有 自 転 車 （自 分 で 所 有）	徒歩	その他
観光・レジャー・スポーツ	372	16.4	6.5	9.1	36.3	7.0	2.7	3.0	2.7	7.3	1.9	6.2	1.1
業務	58	10.3	6.9	8.6	31.0	6.9	6.9	8.6	6.9	10.3	1.7	1.7	0.0
帰省	14	14.3	7.1	0.0	28.6	0.0	14.3	14.3	7.1	0.0	7.1	7.1	0.0
その他	6	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0



3. 大島町の現状と課題

3-5. 来島者の移動実態

(2) 来島者WEBアンケート

5) 島内での主な移動手段の選択理由

- ・路線バスは「料金の安さ」が選択の理由として挙げられている。
- ・レンタカーは「移動時間の短さや近くまで移動できること」、「目的地以外にも手軽に来訪できること」が選択の理由として挙げられている。
- ・タクシーは「移動時間の短さ」が選択の理由として挙げられている。

		n	料金が安い、または	目的地でまき短かい時間	運転が楽、証明書をもら	目的地の近くにまで移	目的の地から通段が行	他の地の通段が行	目的の地から通段が行	目的地の近くにまで移	目的地の近くにまで移	目的地の近くにまで移	目的地の近くにまで移	目的地の近くにまで移	目的地の近くにまで移	その他
全体		400	26.3	33.0	8.5	34.0	20.5	23.0	6.5	3.8	1.8					
	路線バス	62	67.7	22.6	11.3	21.0	21.0	4.8	3.2	3.2	1.6					
	観光貸切バス	25	48.0	36.0	12.0	20.0	16.0	12.0	8.0	4.0	4.0					
	タクシー	35	11.4	54.3	14.3	34.3	11.4	8.6	0.0	0.0	0.0					
	レンタカー	139	12.9	46.0	5.8	47.5	20.9	33.8	3.6	0.0	0.0					
	レンタサイクル	27	29.6	11.1	11.1	37.0	14.8	40.7	14.8	0.0	3.7					
	家族の家にある自動車を自分で運転	14	0.0	14.3	21.4	28.6	42.9	28.6	21.4	0.0	0.0					
	知人の家にある自動車を自分で運転	13	15.4	15.4	23.1	30.8	38.5	23.1	15.4	7.7	0.0					
	家族による送迎	14	7.1	14.3	14.3	35.7	35.7	28.6	14.3	0.0	0.0					
	知人による送迎	31	19.4	25.8	0.0	25.8	22.6	25.8	9.7	12.9	3.2					
	自転車（自分で所有）	10	10.0	20.0	0.0	20.0	10.0	30.0	10.0	40.0	0.0					
	徒歩	26	34.6	19.2	0.0	19.2	11.5	3.8	7.7	11.5	7.7					
	その他	4	50.0	50.0	0.0	50.0	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0					

3. 大島町の現状と課題

3-5. 来島者の移動実態

(2) 来島者WEBアンケート

6) 島内での移動の不安・課題

路線バスでは、運行本数の少なさや利用したい時間帯に運行していないことが課題として挙がっている。

	n	料 金 が 高 い	時 間 が か か る	動 道 ・ 走 行 で き な い 移 車	歩 道 や 車 道 ・ 安 全 に 転 車	大 坂 道 が 多 く 、 移 動 が	バ ス の 運 行 本 数 が 少	ス リ 用 し た い 時 間 に バ	で き な い 過 ご と が	快 適 に 過 ご と が	バ ス 車 内 や 停 留 所 を	い り き た い 場 所 に 自 由	取 り づ く ら い 等 、 予 約 が	サ イ ク ル カ ー や レ ン タ が	に 来 ない と き に す ぐ	乗 り たい と き に す ぐ	応 じ たい と き に 対	キ ャ ッ シ ユ レ ス に 対	な い 情 報 、 目 的 地 の 案	送 迎 し て く れ る 移 動	動 き な い と き に す ぐ	自 分 で 自 動 車 を 運 転	そ の 他	
全体	400	18.8	14.0	8.8	15.5	20.0	16.8	12.8	14.0	13.3	10.8	7.8	4.8	6.3	7.5	4.3								
路線バス	62	24.2	25.8	8.1	11.3	46.8	30.6	9.7	9.7	9.7	6.5	3.2	3.2	4.8	0.0	0.0								
観光貸切バス	25	4.0	28.0	16.0	12.0	12.0	16.0	16.0	20.0	8.0	8.0	0.0	8.0	16.0	4.0	8.0								
タクシー	35	42.9	11.4	8.6	8.6	11.4	11.4	5.7	11.4	8.6	20.0	5.7	5.7	0.0	0.0	0.0								
レンタカー	139	28.1	9.4	8.6	16.5	18.7	12.2	12.2	11.5	18.0	11.5	9.4	4.3	4.3	12.9	3.6								
レンタサイクル	27	0.0	25.9	7.4	33.3	14.8	11.1	14.8	7.4	14.8	14.8	14.8	3.7	3.7	3.7	3.7								
家族の家にある自動車を自分で運転	14	0.0	0.0	21.4	14.3	21.4	28.6	14.3	42.9	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	7.1	0.0								
知人の家にある自動車を自分で運転	13	0.0	15.4	0.0	15.4	7.7	53.8	23.1	15.4	7.7	23.1	30.8	7.7	0.0	0.0	0.0								
家族による送迎	14	0.0	0.0	14.3	7.1	7.1	0.0	42.9	28.6	28.6	14.3	14.3	7.1	21.4	7.1	0.0								
知人による送迎	31	6.5	6.5	6.5	6.5	12.9	16.1	9.7	16.1	16.1	9.7	6.5	6.5	22.6	3.2	12.9								
自転車(自分で所有)	10	10.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0	10.0	30.0	0.0	0.0	10.0	0.0	30.0	10.0								
徒歩	26	3.8	19.2	3.8	26.9	15.4	11.5	0.0	15.4	0.0	0.0	3.8	3.8	3.8	15.4	7.7								
その他	4	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

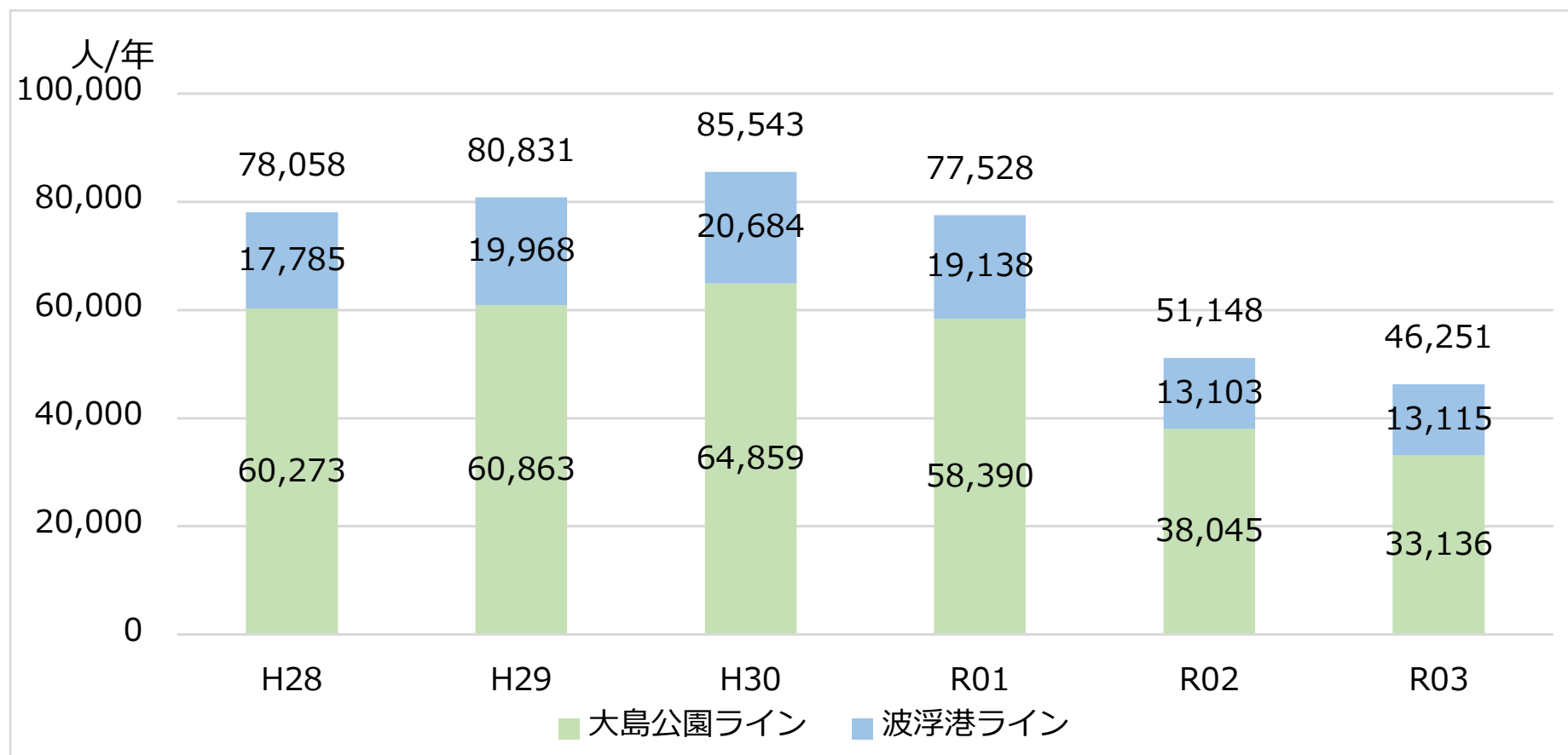
3. 大島町の現状と課題

3-6. 公共交通の利用状況

(1) バスの利用状況

1) 年別利用者数の推移

- H30年までは利用者数は増加
- R2・R3はコロナウイルス感染拡大の影響で減少



3. 大島町の現状と課題

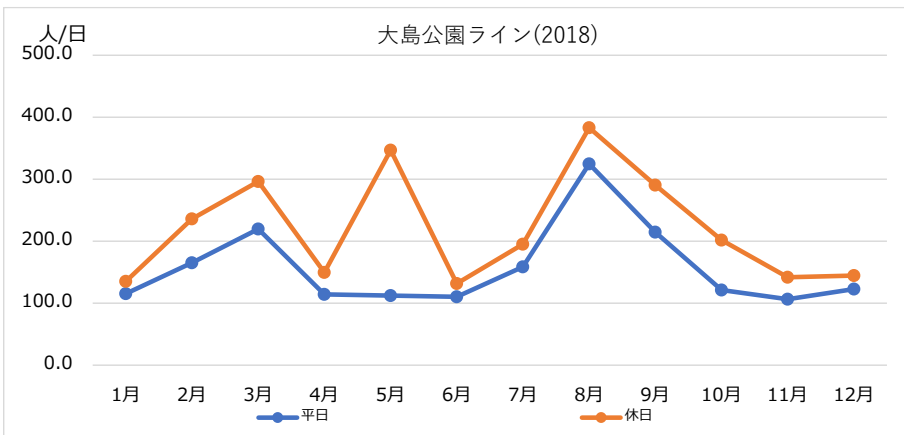
3-6. 公共交通の利用状況

(1) バスの利用状況

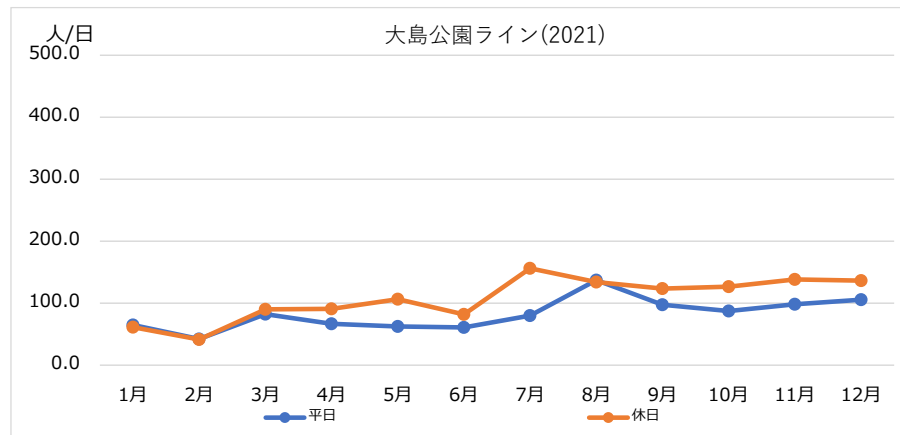
2) 平日・休日別利用者数

- ・ コロナウイルス感染拡大前である2018年は、休日利用が多い傾向
- ・ コロナウイルス感染拡大の影響を受けている2021年は、特に休日利用の減が顕著

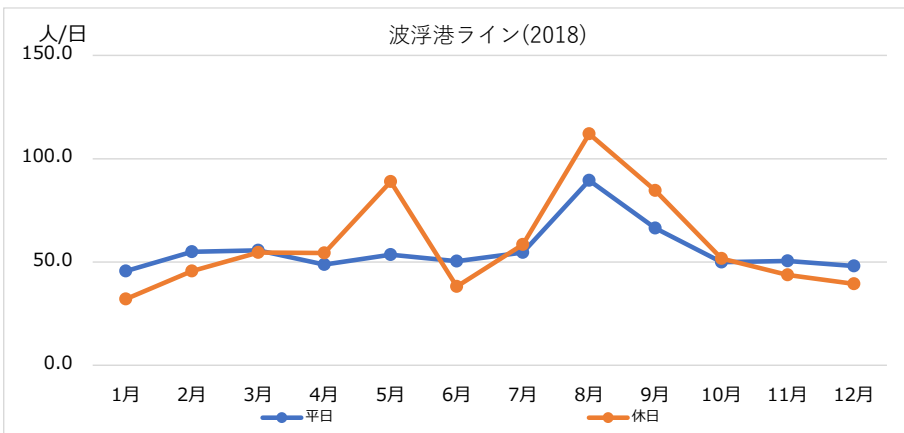
2018年



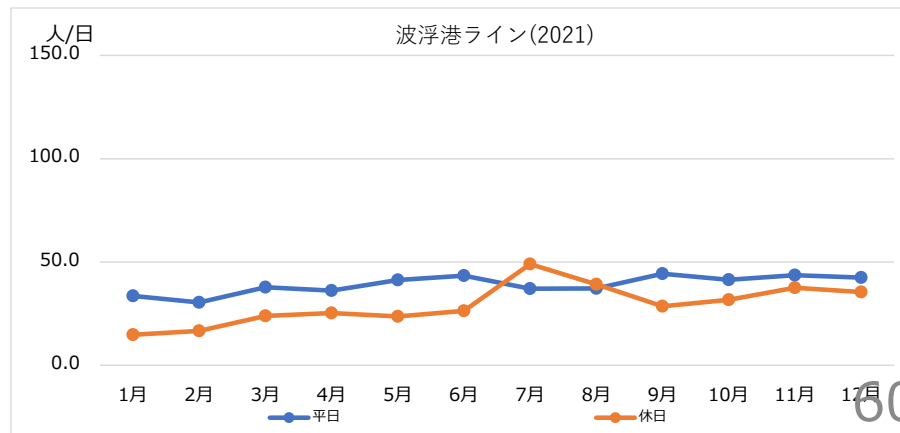
2021年



2018年



2021年



3. 大島町の現状と課題

3-6. 公共交通の利用状況

(1) バスの利用状況

- バスの前扉付近にビデオカメラを設置
- 乗降者数と乗降バス停を記録
- 調査対象月：8月(最終週の休日のみ)、12～1月

調査対象月	延べ記録日数	延便数	設置車両
8月	2日	65便	調査期間中に運行する車両 5 台 ※調査日毎にビデオカメラ設置車両を変更
12～1月	45日	275便	13台の車両のうちの5台 ※ビデオカメラは特定の車両に固定



3. 大島町の現状と課題

3-6. 公共交通の利用状況

(1) バスの利用状況

【各路線・各時期共通】

- 主な利用は元町港に集中
- コロナ禍(R2・R3)と比較すると乗車人数増加
- コロナ禍以前と比較すると半分以下に落ち込み

【波浮港ライン】

- 海洋国際高校前での乗車が多い

⇒高校生の休日の移動手段としての利用が想定

- 波浮港や波浮見晴台、上の山でも乗車

⇒平日は住民の利用、休日や8月の観光シーズンには波浮港周辺での観光周遊利用と想定

【大島公園ライン】

- 岡田港に利用が集中

⇒元町港・岡田港間の移動が主な需要と想定

3. 大島町の現状と課題

3-6. 公共交通の利用状況

(1) バスの利用状況

1) 8月の利用状況(波浮港ライン)

上り便は波浮港周辺の地区での乗車、海洋国際高校前での乗車が多い。降車は元町港に集中している。

下り便は乗車は元町港、降車は波浮港周辺に集中している。



3. 大島町の現状と課題

3-6. 公共交通の利用状況

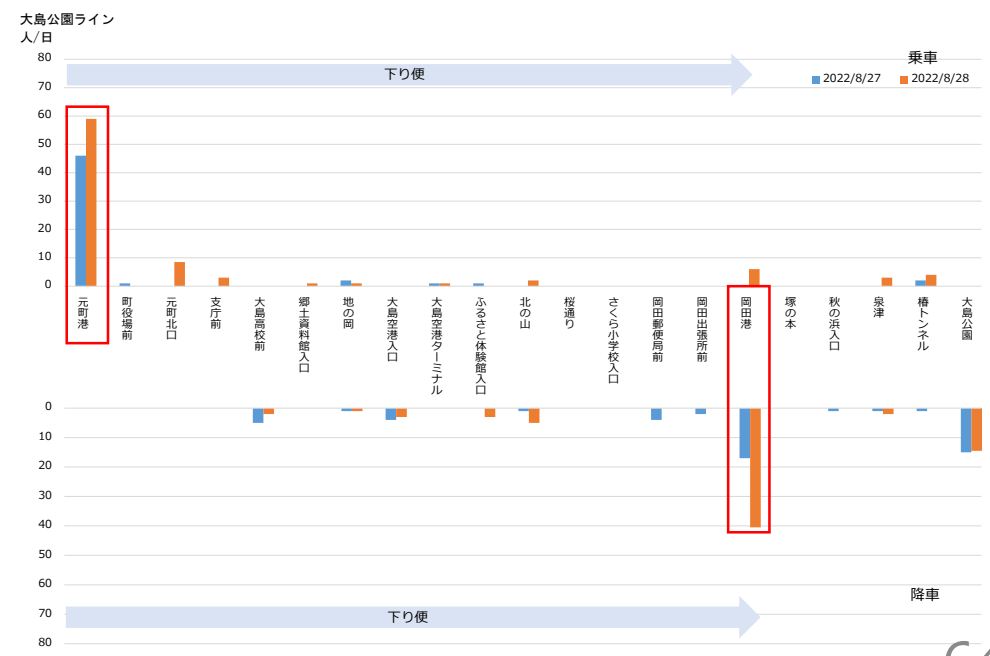
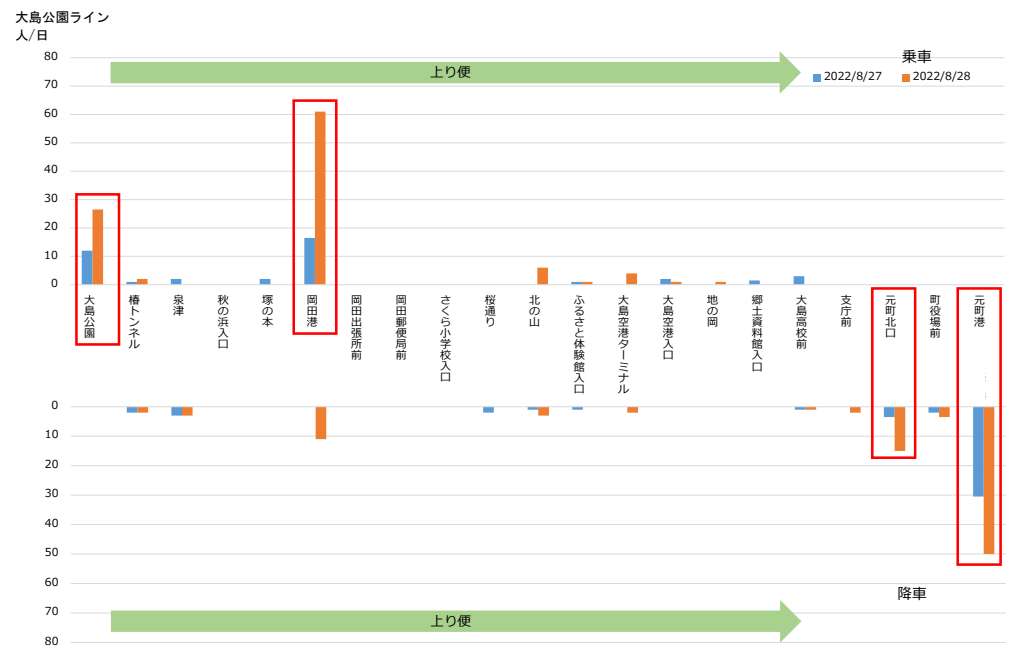
(1) バスの利用状況

1) 8月の利用状況

(大島公園ライン)

上り便は大島公園・岡田港での乗車が多い。
降車は元町北口や元町港が多い。

下り便は乗車は元町港、降車は岡田港に集中している。



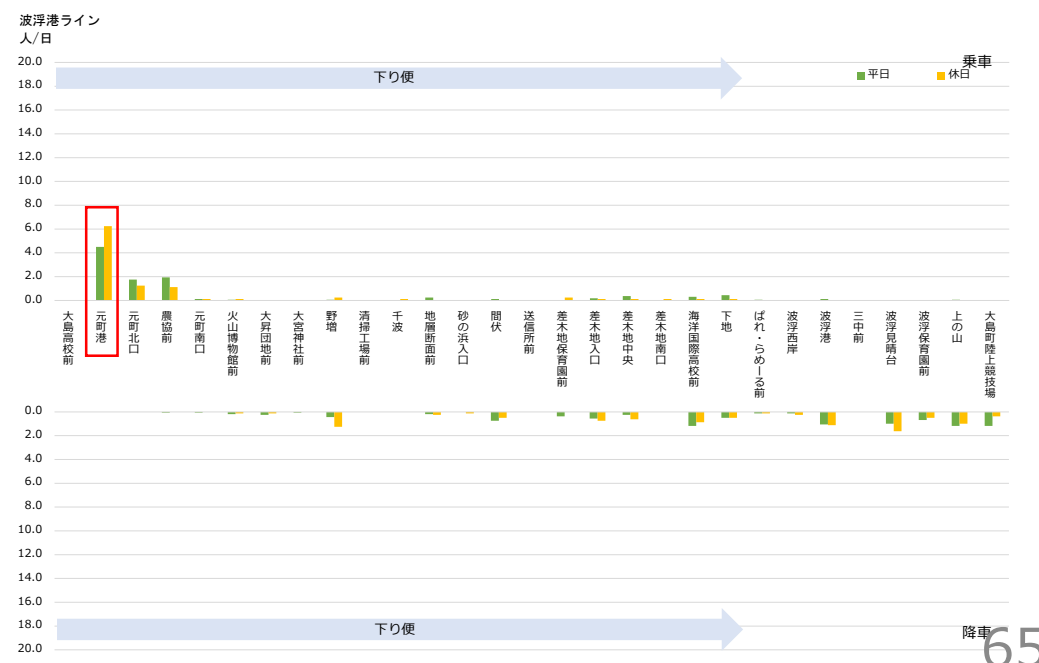
3. 大島町の現状と課題

3-6. 公共交通の利用状況

- (1) バスの利用状況
- 2) 12-1月の利用状況 (波浮港ライン)

上り便は海洋国際高校前での乗車が多く、降車は農協前や元町港が多い。平日は早朝の大島高校前への直通便での降車もみられる。

下り便は乗車は元町港での乗車が多いが、降車については、差木地や波浮港の停留所での降車が広くみられる。



3. 大島町の現状と課題

3-6. 公共交通の利用状況

- (1) バスの利用状況
- 2) 12-1月の利用状況 (大島公園ライン)

上り便は大島公園・岡田港での乗車が多い。
降車は元町港が多い。

下り便は乗車は元町港、降車は岡田港に集中している。

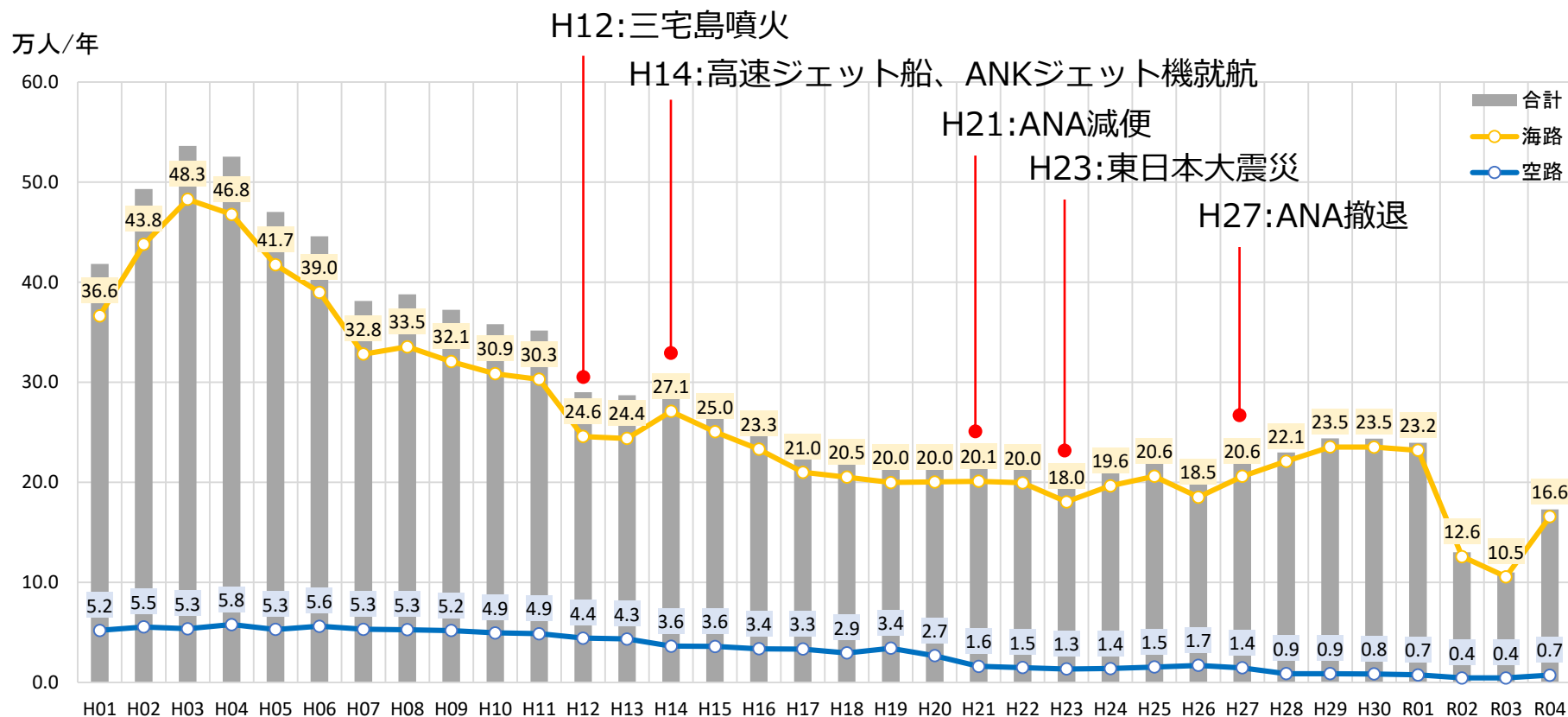


3. 大島町の現状と課題

3-6. 公共交通の利用状況

(2) 船舶・航空機の利用状況

- 船舶については、コロナウイルス感染拡大前までは、年間約23万人が利用していたが、コロナウイルス感染拡大の影響で令和2年度の利用は約12.6万人に減少
- 航空機については、平成27年のANA撤退以降、減少傾向



3. 大島町の現状と課題について

3-7. 地域や公共交通の現状からみた課題

□現状

【移動サービスの現状】(庁内WG)

- ・東京発着のジェット船との接続を重視したバス運行ダイヤ

【町民の意見】(事業者ヒアリング)

- ・バス停から医療センターや図書館等へのアクセスが、高低差や距離があり高齢者の負担
- ・夕方以降のバス・タクシーがないため、外食等に支障
- ・支え合い交通等のボランティア輸送の持続性に課題

【町民の移動実態】(アンケート)

- ・買い物は各地区から元町・北の山に来訪
- ・町内各地区から大島高校への通学需要

【町事業の状況】(ヒアリング)

- ・移動を支える複数のサービスあり
- ・一部事業内容が重複

【交通ネットワーク】(カバー状況)

- ・町民の半数以上が公共交通のカバー圏域外

課題1: 日常の需要に対応した使いやすい移動サービスが必要

1-1. 島外連絡交通（航空機、船舶）との接続や島内移動に対応したダイヤ調整が必要

1-2. 通院や買い物などの日常の利用ニーズにあった移動サービスが必要

1-3. 重複する既存の移動サービスの整理・集約が必要

3. 大島町の現状と課題について

3-7. 地域や公共交通の現状からみた課題

□現状

【移動サービスの現状】(庁内WG)

- 1本/時間のバス運行、夕方以降の運行なし
- 夕方以降のタクシー運行僅少
- 交通機関がキャッシュレス決済未対応

【バスの利用実態】(乗降調査)

- 元町・岡田間の移動に路線バスを活用
- 大島公園や波浮港までの移動需要あり

【事業者の意見】(事業者ヒアリング)

- レンタカーがなく、移動に困る観光客が発生(地形の起伏による移動しづらさ)
- 主要な観光地がレンタカー以外では来訪しづらい

【来訪者の意見】(中学校WS・庁内WG・来島者アンケート)

- 家族での来訪が増加傾向
- 自転車を利用した移動が増加傾向
- キャッシュレス等に未対応
- 来島者への情報提供が不足(船の予約、駐車場所、バスに関する問合せも多い)
- 路線バスの運行ダイヤや時間帯の利用しづらさ

課題2：来島者も利用しやすい交通環境整備が必要

2-1. 時期によって不足する、移動手段の確保が必要

2-2. 観光客のニーズに対応した移動サービスが必要

2-3. 来島者にとって、使いやすい移動サービスが必要

2-4. 島内の移動手段に関する来島者への情報提供が必要

3. 大島町の現状と課題について

3-7. 地域や公共交通の現状からみた課題

□現状

【バスの利用実態】(乗降調査)

- 元町港・岡田港間や主要観光地以外での乗降僅少

【町民の意見】(事業者ヒアリング・庁内ヒアリング)

- 公共交通を日常生活に組み込みづらい
- 自家用車があるため、時間等の融通が利く自家用車で移動
- 家族や知人への送迎の依頼しづらさ

【町民の移動実態】(アンケート)

- 自家用車移動が中心
- 自家用車で移動できず、家族等に送迎を依頼できない住民が一定数存在

課題3：自動車以外の交通手段の利用促進が必要

3-1. 免許返納者の移動手段の確保が必要

3-2. 島民のライフスタイル・移動実態にあった移動サービスが必要

3-3. 公共交通の利用促進に向けた島民の意識の醸成が必要